

## 基本目標

地域住民と地域のあらゆる団体・組織の主体的な参画と  
協働により、誰もが安心していきいき暮らせるまちづくり

## 基本理念

### ○一人ひとりが尊重されるまちづくり（人権擁護）

すべての人が人として尊重され、一人ひとりがその人らしい幸せを求め、自立した生活を送ることができるまちづくりを推進します。

### ○地域住民が主役になるまちづくり（住民主体）

住民一人ひとりが主体となり、地域の福祉力を高め、地域住民でささえあうまちづくりを推進します。

### ○地域のすべてが関わりあうまちづくり（ネットワーク）

住民、ボランティア、福祉施設などの事業所や地域のあらゆる団体・組織が相互理解を深め、お互いが手と手をつなぎ、誰もが共に生きるまちづくりを推進します。

## キャッチフレーズ

つながる ひろがる ささえあう

このキャッチフレーズは、社会の変化がもたらす孤立、分断、排除を認識し、人権と社会正義の原則に則り、住民一人ひとりが社会の一員として共に生きる社会の創造を目指すことを表します。

- つながる 人と人、人と社会とのつながりをつくり、強くする
- ひろがる 多様で数多くのつながりや思いを社会にみたく
- ささえあう 一人ひとりがお互いに尊重し、支えとなる

## 個別支援（安心づくり）

<b>身近な相談窓口</b>		9ページ	
1	地域生活相談事業	生活支援課	
<b>生活困窮者等に対する支援</b>		9ページ	
1	自立相談支援事業	生活支援課	
2	就労準備支援事業		
3	家計改善支援事業		
4	生活物品支援事業		
5	生活福祉資金貸付事業		
6	民生融金貸付事業		
<b>高齢者に対する包括的な支援</b>		13ページ	
1	包括的支援事業	高齢者あんしん 支援センター	
(1)	総合相談支援業務		
(2)	権利擁護業務		
(3)	包括的・継続的ケアマネジメント支援業務		
2	一般介護予防事業の一部		
(1)	介護予防把握業務		
(2)	介護予防普及啓発業務		
3	第1号介護予防支援業務・指定介護予防支援業務		
4	地域ケア会議に関する業務		
(1)	地域ケア会議の開催		
(2)	出雲市地域ケア個別会議の開催		
5	その他		
<b>権利擁護を必要とする人に対する支援</b>			16ページ
1	日常生活自立支援事業		いずも権利擁護 センター
2	法人後見事業		
3	障がい者入居債務保証事業		
4	財産保全サービス事業		
5	市民後見推進事業		
6	いずも権利擁護センター運営委員会等の開催		
7	出雲成年後見センターとの連携強化		
<b>多機関の協働による総合的な相談支援</b>		19ページ	
1	相談支援体制の構築	総務課	
2	出雲市総合相談事業		

## 地域支援（地域づくり）

<b>地域住民の主体的な福祉活動の推進</b>	24ページ
-------------------------	-------

1 地区社会福祉協議会等活動総合支援事業	地域福祉課
2 地区社会福祉協議会連絡会の開催	
3 ふれあいサロン活動助成事業	
4 地域ふれあい見守りネットワーク事業	
5 福祉団体活動助成事業	
<b>地域住民等の参加と協働による福祉のまちづくりの推進</b>	
29ページ	
1 認知症高齢者等SOSメール安心ネットワーク事業	地域福祉課
2 出雲市生活支援体制整備事業	
3 住民参加型在宅福祉サービス事業	
(1) たすけあいボランティア事業	
(2) すこやか訪問事業	
4 共同募金歳末助け合い事業	
<b>福祉サービスの提供</b>	
33ページ	
1 車いす貸出事業	地域福祉課
2 ガイドヘルプ事業	
<b>社会福祉法人等との連携・協働及び支援等</b>	
34ページ	
1 社会福祉法人による地域貢献活動推進事業	総務課
2 高齢者マッサージサービス事業	地域福祉課
3 団体支援等	
(1) 出雲市民生委員児童委員協議会など社会福祉団体の支援	地域福祉課
(2) 島根県共同募金会出雲市共同募金委員会	総務課
(3) 日本赤十字社島根県支部出雲市地区	
4 その他の事業	地域福祉課
(1) 戦没者追悼事業	

## 人材育成（人づくり）

<b>ボランティア活動の促進</b>	
36ページ	
1 ボランティアまちづくりセンターの運営	地域福祉課
2 技術ボランティアの養成	
(1) 手話奉仕員養成講座	
(2) 手話奉仕員フォローアップ研修	
(3) 手話通訳者養成講習会を目指す学習会	
(4) 要約筆記奉仕員フォローアップ研修	
(5) 点訳奉仕員養成講座	
(6) 広報音訳ボランティア養成講座	
(7) 広報音訳ボランティアフォローアップ研修	
3 ボランティア活動に参加する人の拡大	

(1) ボランティア講座	
(2) 社会福祉施設ボランティア推進研修会	
<b>福祉教育の推進</b>	<b>39ページ</b>
1 福祉教育推進事業	地域福祉課
(1) 福祉教育連絡会	
(2) サマーボランティアスクール	
(3) 福祉学習支援	
(4) あいサポート運動推進事業	
<b>災害時のボランティア活動の支援</b>	<b>40ページ</b>
1 災害ボランティアセンターの設置運営	地域福祉課

## 法人運営

<b>信頼にこたえる法人運営</b>	<b>41ページ</b>
1 法人運営事業	総務課
(1) 組織運営	
(2) 経営基盤の確立	
(3) 経営管理の充実	
(4) 関係機関との連絡調整	
(5) 役職員の研修	
<b>広報啓発活動の推進</b>	<b>46ページ</b>
1 出雲市総合社会福祉大会の開催等	総務課
(1) 出雲市総合社会福祉大会の開催	地域福祉課
(2) しまね県民福祉大会への参加	
(3) 各種表彰の候補者の推薦	
2 「社協だよりいずも」の発行	
3 音訳広報・点訳広報発行事業	
(1) 音訳広報発行	
(2) 点訳広報発行	
4 ホームページの運営管理	
5 出雲市民余芸大会の開催	
<b>中期的な計画の推進</b>	<b>48ページ</b>
1 地域福祉活動計画推進事業	総務課
<b>災害見舞への取組</b>	<b>49ページ</b>
1 災害見舞金事業	総務課
<b>会館管理</b>	<b>49ページ</b>
1 会館管理事業	総務課
(1) 出雲市社会福祉センター管理運営事業	

(2) 多伎地域福祉センター管理運営事業	
(3) 平田福祉館管理運営事業	
<b>新型コロナウイルス感染症対策</b>	50ページ
1 方針の決定	
2 職員の感染予防対策	
3 施設利用への対応	
4 業務継続のための体制構築	
5 事業	

## 社協や福祉に関わる政策等の動向

### ○ 「地域共生社会の実現」に向けた動き

日本の福祉制度は、高齢、障がい、児童等の対象者ごとに制度ができているため、その対応も制度ごとに連携を図ることなく行われてきました。また、既存の制度では十分な対応が難しい課題を抱える人や制度の狭間にあつて公的な支援を受けることのできない人々も多く、そうした人々を早期に発見し、速やかに必要な支援に確実につなげていくことのできる仕組みを地域の実情に応じて作り上げていくことが求められています。

国においては、「地域共生社会の実現」を今後の福祉改革を貫く基本コンセプトとして掲げて取組を進めており、令和2年6月には社会福祉法が改正され、市町村が行う重層的支援体制整備事業が創設されました。

出雲市では、第3次地域福祉計画・地域福祉活動計画に基づき多機関の協働による総合的な相談体制の確立について検討が進められ、令和2年10月から出雲市総合相談事業が開始されました。

### ○ 新型コロナウイルス感染症

新型コロナウイルス感染症は、令和元年12月初旬に中国の武漢市で第1例目の感染者が報告されてから、わずか数カ月ほどの間にパンデミック（世界的な大流行）が発生しました。（同様のケースとしては、過去に1918年にスペインかぜが流行し、世界で2000万人以上、日本でも45万人が死亡したといわれています。）

わが国では、令和2年1月15日に最初の感染者が確認、その後全国へ拡大しました。

国は、4月7日に東京など一部の地域で緊急事態宣言を発出し、4月16日に全国へ対象範囲を拡大しました。その影響は大きく、人との接触を7割から8割削減することの要請を受けての在宅勤務の増加、学校の休校や公共施設等の閉館、大型商業施設の臨時休業等が実施されたことや、3密の回避（密閉・密集・密接）や新しい生活様式が提唱されるなど私たちの生活に大きな変化をもたらしました。その後、緊急事態宣言は東京など8都道府県を除く39県の解除を経て、5月25日に全国で解除となりました。

小康状態ののち、7月初旬から再び拡大した第2波では、全国の1日新規感染者数が8月7日に1605人、1週間平均では1300人を超えピークを迎えました。

その後、9月23日に全国の1日新規感染者数が219人まで減少したものの、11月上旬から再び増加し、令和3年1月8日の7949人をピークとする第3波が到来しました。国は、1月7日から東京圏に限定した緊急事態宣言を発出し、その後関西圏や中京圏に対象範囲を拡大しました。2月より全国的に新規感染者数が減少傾向となり、緊急事態宣言は3月21日に解除されました。

しかし、3月下旬ごろより関西圏で感染者の増加が始まり、急速に全国に感染が拡大しました。この第4波の到来によって、感染がどこまで拡大するか見通せない状況です。

島根県内では、令和3年3月31日時点で新型コロナウイルスに感染したとして確認された人は合計288人でした。全国での度重なる感染の拡大は、緊急事態宣言区域を

はじめ感染拡大地域との往来自粛や、各種行事の中止や延期、外出自粛などにより、県内でも多くの人が日常生活や経済活動に影響を受けました。

## 本会の取組

### ○ 中期経営計画に基づく地域福祉の推進

平成30年度からの5年間を計画期間とする第3期中期経営計画に基づき、今まで本会が積み重ねてきたコミュニティソーシャルワーク（※）の実践である「小地域における住民主体による福祉活動の推進と支援」と「総合相談・生活支援体制の強化」に取り組みました。

※ 地域において生活上の課題を抱える個人や家族に対する個別支援と、それらの人々が暮らす生活環境の整備や住民の組織化等の地域支援をチームアプローチによって統合的に展開する実践。

### ○ 3本柱による重点事業の推進

新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受け、中止や縮小せざるを得ない事業がある一方、新たに対応が必要となり業務が増えた事業もありました。

事業推進にあたっては、「個別支援（安心づくり）」「地域支援（地域づくり）」「人材育成（人づくり）」を柱として重点事業に取り組みました。

個別支援（安心づくり）は、生活困窮の状態にある人、高齢者、権利擁護を必要とする人に対する相談・支援と福祉サービスの提供に最重点に取り組みました。

なお、新型コロナウイルス感染症の拡大により、緊急小口資金貸付決定件数が昨年度に比べ約30倍と急増したことや、感染防止のため相談支援を行うための利用者宅への訪問回数を減らすなど、個別支援事業全体に大きく影響を受ける事となりました。

また、複数の課題や複合的な課題に対応するため、出雲市が実施する「出雲市総合相談事業」を一部受託し、各種支援機関等と連携を図りながら包括的な相談支援体制の構築を推進しました。

地域支援（地域づくり）は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、特に地区社協の活動やサロン活動では、事業の中止や延期が多数発生しました。

しかし、コロナ禍においても生活課題を抱える人が地域社会において自立した生活を送ることができるよう、感染防止対策を行って活動を再開している団体の様子を伝えたり、具体的な方法について個別に相談を受けたりする事で、各地域での福祉活動再開に向けた支援を行いました。

人材育成（人づくり）は、地域における住民福祉活動を担う人やさまざまな地域福祉事業に参加・協力する人を広げることを目指して研修事業に取り組みましたが、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受け、技術ボランティアの養成はすべて中止となり、予定していた講座についてはリモートでの開催に切り替えるなどして対応しました。

なお、十分な感染防止対策を行って学校における福祉教育の取組を進めるなど関係団体と連携しながら工夫して事業を実施しました。

## ○ 財務改革の推進

財務運営にあたっては、財源構成に留意して安定的な財源の確保に努めるとともに、限られた財源で効率的で効果的な事業実施に取り組みました。

平成30年12月に定めた「財務改革の推進方針」に掲げた、「2019年度から3年以内に経常収支の赤字を1000万円以下に圧縮する」との目標は2019年度（令和元年度）に達成しましたが、今年度も引き続き、強力に取り組んだ結果、故人からの遺贈や個人からの篤志寄附があったこと、事業の中止等による支出減などによって、悲願であった単年度収支の黒字転換を達成することができました。

## ○ 経営管理体制と組織運営の強化

法人経営にあたっては、会長と常務理事が常勤する体制を継続するとともに、理事会、正副会長会の適宜開催、評議員会の適正な運営、監事による厳正な監査の実施など経営管理体制の強化に取り組みました。

毎月1回の経営会議の他、必要に応じ臨時経営会議を開催し、リスク管理など組織運営の強化に努めてきました。

事務局組織や職員配置は、限られた職員で最大の成果を上げることができるよう、適材適所の職員配置に努めました。研修を契機に生まれた中堅職員グループを中心とした、職員の横のつながりを強化する動きが、コロナ禍における新たな取組としての緊急フードドライブ事業等の実施に結びつき、大きな成果をもたらす結果となりました。

地域福祉を推進するパートナーとして、市との組織的で対等なパートナーシップの確立・強化に取り組みました。

本会の役割や存在意義が幅広い年代の地域住民に伝わり、理解されるよう、特に若い世代に向けてSNSを活用するなど広報活動を工夫しました。

## ○ 新型コロナウイルス感染症への対策

新型コロナウイルス感染症への対策を法人経営上のリスク管理に位置づけ、感染予防などに取り組みました。

新型コロナウイルス感染症の状況に応じて随時臨時経営会議を開催して、対応方針を決定し、対策に取り組みました。

具体的な対応策としては、基本的な感染症対策を職員に徹底、健康観察表や行動記録表の記入、島根県外との往来に関する報告、相談業務での検温・体調確認をはじめ、県内、市内での感染者発生を受けて、4月22日から5月31日まで各課・センターの中核メンバー6人を平田支所の別室勤務とするなど、法人としてリスクに対応する体制を強化してきました。

また、新型コロナウイルス感染症対策として新設された赤い羽根共同募金会の助成金を活用し、コロナ禍で困窮した個人及び世帯に対して、緊急食糧支援の取り組みを実施しました。多くの個人、企業、団体等からご寄附頂いた約6万点以上にも及ぶ食品や日用品を、約800人の方に届けることが出来ました。



## 個別支援（安心づくり）

---

地域において福祉サービスを必要とする人や世帯を把握し、相談に応じるとともに課題解決を図るための支援をしました。また、課題解決のために福祉サービスを提供しました。

### 身近な相談窓口（生活支援課）

地域の身近な相談窓口として、広く住民の生活上の悩みごとや心配ごとの相談に応じます。

#### 1. 地域生活相談事業

住民が抱えるさまざまな生活上の問題について広く相談に応じ、必要に応じて弁護士による無料法律相談や本会の各部署、他の相談機関等と連携を図りながら、問題解決に取り組む予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、一般相談は4月10日、法律相談は4月23日を最後に中止しました。また、11月24日からは、来所相談に抵抗を感じる方が、オンラインで福祉の相談ができるようにオンライン福祉相談を開始しました。

##### (1) 一般相談

①一般相談員 8人

②実施状況 開設回数5回、相談件数9件

	出雲	平田	斐川	合計
開設回数	3	1	1	5
相談件数	7	0	2	9

##### (2) 法律相談

実施状況 開設回数4回、相談件数10件

##### (3) 相談員研修会

一般相談員を対象として、相談対応の資質向上を目的に研修会を予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、中止しました。

### 生活困窮者等に対する支援（生活支援課）

生活困窮者自立支援制度に基づき、生活保護に至る前の段階の自立支援を図るため生活困窮者に対して包括的な支援をしました。また、生活困窮者の自立と尊厳の確保を目指すとともに、包括的な自立支援にむけて関係機関と連携し、共に支え合う地域づくりを推進しました。

## 1. 自立相談支援事業

経済的困窮や社会的孤立など様々な課題を抱える人からの相談に応じ、関係機関等と連携を図りながら、一人ひとりの状況に合わせて、包括的、継続的に支援をしました。

(1) 相談受付件数：1, 138件（うち新規申込件数：452件）

### ①居住地別人数

出雲	平田	佐田	多伎	湖陵	大社	斐川	不明	不定	市外	その他	合計
597	110	14	25	33	49	139	160	2	8	1	1,138

②性別人数：452人（うち男性：272人、女性：180人）

### ③年代別人数

20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	合計
5	47	90	113	99	60	38	452

### ④住居の状況

持家	借家	賃貸アパート、マンション	公営住宅	会社の寮、借上住宅	野宿	その他	不明	合計
139	30	112	38	22	1	7	103	452

### ⑤ 主訴（重複あり）

主訴	件数	主訴	件数
病気・健康・障がい	32	仕事上の不安やトラブル	11
住まい	34	地域との関係	2
収入・生活費	265	家族関係・人間関係	15
家賃・ローン	63	子育て	4
税金・公共料金支払い	40	介護	9
債務	15	引きこもり・不登校	5
仕事探し、就職	37	食べるものがない	16
DV・虐待	2	その他	274
		合計	824

## (2) プランの策定状況

支援調整会議を開催し、支援対象者の自立支援が円滑に図れるようなプランであるか、関係者の意見を聞き、支援の方針を確認し決定しました。

①支援決定・確認件数：21件（初回プラン17件、再プラン4件）

②評価実施件数：15件（終結11件、再プランして継続4件）

## (3) 支援の状況

- ・相談支援後の就労者及び収入増収者数（就労者6人、増収者2人）
- ・住居確保給付金の利用

初回	延長	再延長	再再延長	再支給	合計
30	18	8	2	0	58

- ・生活保護受給者等就労自立促進事業の利用におけるハローワークとの連携（6件）

#### （4）広報・啓発

##### ①生活困窮者自立支援制度啓発セミナー

制度への理解や生活困窮者支援に関する取り組みについて住民や関係機関へ広く周知することを目的に開催しました。

日 時 令和3年3月2日（火）

会 場 朱鷺会館

内 容 地域で考える「子どもの福祉」と「子どもの権利」

講 師 島根大学 人間科学部 講師 佐藤桃子氏

参加者 107人

#### （5）研修・会議

- ・職員の資質向上のために、外部研修に参加（参加回数14回）
- ・関係機関との連携に関わる会議に参加（参加回数12回）

### 2. 就労準備支援事業

一般就労に向けた準備が整っていない生活困窮者並びに生活保護受給者に対して、生活習慣の改善やコミュニケーション能力の向上、基礎能力の形成が図れるよう支援しました。

#### （1）利用申込者

- ・事業利用者 4人（うち新規1人）
- ・協力事業所での就労体験 3人（うち一般就労1人）

#### （2）関係事業所

- ・就労準備事業協力事業所 29件（うち新規1件）

#### （3）被保護者就労準備支援事業

- ・事業利用 1件

### 3. 家計改善支援事業

家計収支の均衡が取れていないなど、家計に課題を抱える相談者世帯に対して、家計状況を理解できるように家計表やキャッシュフロー表を活用し、家計の見える化を図り支援しました。

- ・事業利用者 4人（うち新規1人）
- ・家計改善によるプラン終結 2人

#### 4. 生活物品支援事業

緊急一時的な生活物品の貸出・提供により、生活の維持や再建を図り支援しました。

- ・生活物品貸出利用件数 0件
- ・食料提供件数 151件（フードドライブを除く）
- ・生活用品提供件数 5件

#### 5. 生活福祉資金貸付事業

低所得世帯や障がい者世帯、高齢者世帯に対し、経済的自立や生活意欲の助長などを図るため、生活福祉資金の貸付をしました。また、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響による休業や失業で、生活資金にお困りの方に向けた緊急小口資金及び総合支援資金の特例貸付をしました。

##### (1) 生活福祉資金貸付状況

資金種類	件数	金額
福祉資金	23件	8,197,383円
うち緊急小口資金	12件	1,029,000円
教育支援資金	26件	32,146,000円
総合支援資金	10件	2,969,843円
合計	59件	43,313,226円

##### (2) 緊急小口資金等特例貸付状況

資金種類	件数	金額
緊急小口資金	722件	133,705,000円
総合支援資金	554件	256,020,000円
うち初回貸付	398件	181,690,000円
うち延長貸付	120件	56,780,000円
うち再貸付	36件	17,550,000円
合計	1,276件	389,725,000円

#### 6. 民生融金貸付事業

緊急で一時的に生活の維持が困難な場合に3万円を上限に貸付を行い、自立した生活に向けて支援しました。また、特に急迫状態にある場合には、ライフラインの確保等を図るため1万円を上限に緊急の貸付を行いました。

##### (1) 貸付決定状況

用途	件数	金額
生活保護のつなぎ	38件	735,000円
生活福祉資金のつなぎ	2件	31,000円
年金のつなぎ	3件	30,000円
緊急現金貸付	14件	168,000円

その他	11件	260,000円
合計	68件	1,224,000円

## 高齢者に対する包括的な支援（高齢者あんしん支援センター）

高齢者自らが介護予防に努めるとともに、状態の変化に応じて必要な支援を受けながら、できる限り住み慣れた地域で自分らしい自立した生活を続けることができるよう、行政、地域住民、地域の関係機関と連携を図りながら地域包括ケアの推進にあたりました。

### 1. 包括的支援事業

#### (1) 総合相談支援業務

##### ①地域包括支援ネットワーク構築

- ・民協定例会への出席：71回
- ・地域密着型サービス運営推進会議への出席：76回
- ・その他：12回

- ・郵便局長認知症研修会
- ・島根視覚リハビリテーション研究会
- ・自治体とひかわ医療福祉生協との懇談会
- ・出雲医療生協との意見交換
- ・出雲警察署との連絡会
- ・認知症カフェ連絡会(2回)
- ・伊野地区「おたがいさまセンター(仮)」の立ち上げに向けて
- ・大社三者連絡会
- ・出雲市食育推進ネットワーク会議
- ・サンキウエルビィ職員現認研修
- ・斐川地域健康づくり連絡会

②実態把握件数：937件

③総合相談件数：8,829件（新規：1,507件、継続：7,322件）

#### (2) 権利擁護業務

- ①成年後見に関する相談対応件数：20件
- ②老人福祉法措置の支援：4件
- ③高齢者虐待対応件数：63件
- ④困難事例対応件数：291件

#### (3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

- ①介護支援専門員に対する個別支援件数：365件
- ②介護支援専門員のネットワーク構築・支援に関する業務

- ・ 居宅介護支援専門員事業者研修会： 1 回
- ・ その他： 1 回

## 2. 一般介護予防事業の一部

### (1) 介護予防把握業務

地域の関係者とのネットワークや訪問活動を通して、閉じこもり等介護予防が必要な高齢者の把握を行いました。

### (2) 介護予防普及啓発業務

#### ①啓発活動

- ・ サロン : 6 回
- ・ 自主グループ : 7 回
- ・ 高齢者クラブ : 0 回
- ・ その他 : 1 回

#### ②自主グループ立ち上げ・運営支援： 25 回

## 3. 第1号介護予防支援業務・指定介護予防支援業務

### ①介護予防支援件数： 17,758 件（うち委託7,128 件）

### ②介護予防ケアマネジメント件数

- ・ 現行相当サービス利用分： 8,202 件（うち委託2,530 件）
- ・ 多様なサービス利用分 : 2,350 件（うち委託521 件）

### ③その他対応件数（住宅改修のみ、用具購入のみ）： 134 件

## 4. 地域ケア会議に関する業務

### (1) 地域ケア会議の開催

- ①個別ケース会議 : 40 回
- ②地域ネットワーク会議 : 15 回

### (2) 出雲市地域ケア個別会議の開催

出雲市地域ケア個別会議： 7 回

## 5. その他

### (1) 各種会議

#### ①内部会議

- ・ あんしん支援センター連絡会： 10 回
- ・ 各センター会議： 48 回
- ・ 職種別会議： 21 回

#### ②外部会議

- ・ 地域包括支援センター運営検討会： 1 回
- ・ 生活支援体制整備事業定例会 : 1 回
- ・ 認知症初期集中支援チーム : 11 回

・その他

- ・出雲市介護保険運営協議会(4回)
- ・出雲市介護保険運営協議会地域支援部会(3回)
- ・養護老人ホーム入所判定会(5回)
- ・総合相談体制構築検討ワーキング(6回)
- ・出雲市認知症支援強化検討会
- ・出雲市地域ケア個別会議打合せ会(7回)
- ・出雲市自立支援協議会サービス調整会議
- ・自立支援協議会つながる専門部会(2回)
- ・出雲地域精神保健福祉協議会(2回)
- ・県認知症支援強化検討会(2回)
- ・出雲市在宅医療、介護連携推進会議(2回)
- ・島根県包括支援センター連絡会関連会議(2回)
- ・事前連絡会議(障がいから介護への移行)
- ・地域包括ケアフォーラム打合せ
- ・入退院連携ガイドラインWG会議
- ・介護支援専門員資質向上事業研修委員会専門部会
- ・広報いずも取材対応
- ・在宅医療介護連携に関するヒアリング
- ・浜田市社協視察対応
- ・出雲保健所ヒアリング(精神保健分野における高齢者支援機関との連携について)
- ・介護支援専門員実務研修オリエンテーション
- ・市、認知症家族会、あんしん3者会
- ・ケアマネ向け研修会に関する協議
- ・介護支援専門員実務研修講師
- ・まめネット説明会
- ・出雲医療看護専門学校実習対応(2回)
- ・市との協議<同一賃金同一労働(5回)><入退院連携ガイドライン>  
<地域ケア個別会議事例集(4回)><総合事業関係><コロナウィルス  
対策><低栄養食支援事業><セルフマネジメント><地域課題><認定  
調査><8期計画(2回)><認知症の相談><多様なサービス><業務  
評価>

(2) 職員研修

①内部研修

- ・マネジメント研修
- ・メンタルヘルス研修

## ②外部研修

- ・主任介護支援専門員研修
- ・コミュニティソーシャルワーカー実践基礎研修
- ・労務管理研修
- ・ギャンプル関連問題関係者セミナー（自死対策等関係機関研修会）
- ・出雲圏域重症神経難病患者に係る介護支援専門員連絡会
- ・認知症ケアフォーラムinいずも
- ・在宅療養懇話会（医師懇話会）
- ・地域移行支援にかかる事例研修会
- ・DV関係支援者研修会
- ・ひきこもり支援従事者研修会
- ・高齢者虐待対応現任者標準研修
- ・地域福祉推進セミナー
- ・出雲市市民後見人バンク登録者フォローアップ研修会
- ・地域ケアフォーラム
- ・権利擁護支援従事者養成研修
- ・「地域における権利擁護体制づくり」を考えるセミナー

## (3) 調査

### ①コロナ禍における高齢者の実態把握調査

目的：新型コロナウイルス感染拡大に伴う自粛生活が高齢者の心身機能低下（フレイル）に及ぼす影響を探る。

期間：令和2年10月～11月

対象：高齢者あんしんセンターでかかわりのある高齢者 244人

方法：対象者宅訪問による聞き取り調査

内容：新型コロナウイルス感染拡大以前（3月頃）と比べて、高齢者自身が感じている変化について聞き取りを行った。

## 権利擁護を必要とする人に対する支援（いずも権利擁護センター）

認知症や知的障がい、精神障がいなどの理由で判断能力が十分でない人たちの権利を擁護するとともに、権利が損なわれた場合に相談に応じるなど、地域において安心して生活できるよう相談から援助まで一元的に行いました。

### 1. 日常生活自立支援事業

利用者に対して福祉サービスの利用援助や生活支援を行うとともに本事業の利用促進を図りました。



複合的なニーズを抱える多問題世帯への対応が増えるなか、相談受付から支援に関する専門員のスキルアップを図るとともに、生活支援員の人員確保及び資質の向上に取り組みました。

① 利用人数 121人

高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他	合計
30	26	58	7	121

※新規利用者19人 終了件数16人

② 生活支援員などによる代行支援件数 2,019件

③ 専門員などによる相談支援件数 9,175件

高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他	合計
2,536	2,046	4,160	433	9,175

④ ケース会議 83回

高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他	合計
20	23	37	3	83

⑤ 生活支援員連絡会、研修会

生活支援員を対象に連絡会、研修会の企画実施及び外部研修会等への派遣を行い、活動上の問題への共通認識や知識と技術の習得を図り、支援活動における質の向上に努めました。

(第1回) 県社協主催

実施日 令和2年10月12日(月)

会場 いきいきプラザ島根

内容 「地域での安心した暮らし」へのサポートをするために

講師 島根県東部発達障害者支援センターウイッシュ  
センター長 石橋美恵子氏

参加者 17人

(第2回)

実施日 令和3年3月10日(水)

会場 出雲市社会福祉センター

内容 (1) 暮らしに役立つ遺言・相続について

講師 塩野真弓司法書士事務所 司法書士 塩野真弓氏

(2) 事務局説明

①日常生活自立支援事業の状況報告について

②援助実施記録(ケース記録)の記入について

参加者 15人

## 2. 法人後見事業

法人後見受任ケースに対する適正な財産管理と身上監護に努めました。

また、随時、成年後見制度に関する相談に応じ、制度の啓発に努めました。

① 受任件数 10件 新規1件 終了1件

類型	受任 件数	区 分					
		高齢者		知的障がい者		精神障がい者	
		在宅	施設等	在宅	施設等	在宅	施設等
補助	0	0	0	0	0	0	0
保佐	4	0	1	0	2	1	0
後見	6	0	0	0	3	1	2
合計	10	0	1	0	5	2	2

法人後見業務件数 952件

	高齢者	知的障がい者	精神障がい者	合計
財産管理	76	175	259	510
身上監護	63	190	189	442
合計	139	365	448	952

② 相談・支援件数 22件

高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他	合計
9	5	7	1	22

### 3. 障がい者入居債務保証事業

障がい者の社会復帰の促進や地域生活の継続が可能となるように、一般住宅へ入居する際の債務保証を行いました。

利用件数 10件

身体障がい者	知的障がい者	精神障がい者	合計
3	2	5	10

### 4. 財産保全サービス事業

高齢や障がいなどにより、自分で財産の保管が困難な方に対して、本人に代わって財産を銀行の貸金庫に保管し、安心して生活ができるよう支援を行いました。

利用件数 3件

高齢者	身体障がい者	知的障がい者	精神障がい者	その他	合計
0	0	3	0	0	3

### 5. 市民後見推進事業

市民後見人の活動支援体制構築のため出雲市及び出雲成年後見センターとの協議により支援体制の構築を図りました。

また、市民後見人バンク登録者には活動の場を提供するとともにフォローアップ研修を企画し、モチベーションの維持と資質の向上を図りました。

さらに成年後見制度をより多くの方に理解していただくために、本会が発行している広報誌「社協だより」にて普及啓発に努めました。

①市民後見人の活動支援体制構築のための関係機関との協議

○第1回 出雲市市民後見人の在り方等に関する検討委員会  
令和2年12月23日(水) 市役所くにびき大ホール

○第2回 出雲市市民後見人の在り方等に関する検討委員会  
令和3年 3月11日(木) 市役所市民応接室

②市民後見人バンク登録者(17人)の活動の場の提供

日常生活自立支援事業の生活支援員として3人、法人後見事業の法人後見支援員として2人に活動の場を提供しました。

③市民後見人バンク登録者フォローアップ研修会の開催

実施日 令和3年3月10日(水)

会場 出雲市社会福祉センター

内容 講義「暮らしに役立つ遺言・相続」

講師 塩野真弓司法書士事務所 司法書士 塩野真弓氏

参加者 5人

④成年後見制度普及啓発

○「社協だよりいずも」(令和2年10月発行号)に普及啓発に関する記事を掲載。

⑤その他

・出雲市、出雲成年後見センターと市民後見人の活動に関する協議等の実施(随時)

6. いずも権利擁護センター運営委員会等の開催

実施日 令和2年11月

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止し、書面決議とした。

内容 ・運営委員会正副委員長の選任について

・小委員会(法人後見受任審査委員会)委員の指名について

7. 出雲成年後見センターとの連携強化

出雲成年後見センターとの連携により、双方が成年後見活動を行うにあたって必要な情報提供等を行いました。

・出雲成年後見センター定例会及び研修会への参加

・出雲成年後見センター運営委員会への参画(随時)

多機関の協働による総合的な相談支援 (総務課)

複雑化・多様化した生活課題に多くの関係機関が相互に連携・協働しながら総合的に対応できる体制づくりに出雲市とともに取り組みました。

令和2年4月1日より、多機関の協働による総合的な相談支援体制の構築を目指し、既存の福祉相談窓口から包括的に相談を受け止め、解決に向けて支援しました。

出雲市では、分野ごとに様々な相談窓口が整備されていることから、既存の窓口を最大限に活用し、各相談窓口で受け付けた相談について、既存制度に当てはまらないケースや、どこが主担当になるのか判断に迷う場合など必要な関係部署間の調整を行う「相談支援コーディネーター」を配置し、迅速で継続的な支援を図りました。

令和2年10月1日からは出雲市による「出雲市総合相談事業」の一部を受託実施し、既存の福祉相談窓口の機能を最大限活用し、属性を問わず本人やその世帯が抱える地域生活課題を包括的に受けとめ、複雑化・複合化した支援ニーズに対し柔軟に対応できる相談支援を行いました。単独の相談支援事業者では解決が難しい場合、適切な相談支援事業者や各種支援機関との連携を図りながら支援を行いました。

## 1. 相談支援体制の構築（4月～9月）

(1) 関係機関からの相談・問い合わせ等の状況：30件

(2) 事業対象世帯数：3世帯

内訳

○世帯分類

単身	高齢者のみ	母子・父子	高齢者と単身の子	3世代同居	その他	合計
1	0	0	0	2	0	3

○年代別人数

20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	合計
2	0	0	1	1	2	1	7

○課題の整理 3件

○ケース検討会の開催 2回

※他の相談機関が開催したケースへの参加 0回

○対応状況

状況	件数
関係機関へつないだ	0
課題解決(終結)	1
課題改善(終結)	1
死去・連絡途絶えた等	0
継続支援中	1
合計	3

(3) ワーキンググループへの参加 4回

出雲市における望ましい総合相談体制の在り方、すぐにでもできる工夫、コーディネーターの役割、具体的な支援策検討の流れ、関係機関の役割分担、地域での福祉課題早期発見のための工夫等について検討した。

構成員：【出雲市】福祉推進課 2 人、高齢者福祉課 2 人、医療介護連携課 2 人、健康増進課 2 人、子ども政策課 1 人、総務課（生活・消費相談センター）1 人、市民活動支援課 1 人、【社協】出雲高齢者あんしん支援センター 1 人、平田高齢者あんしん支援センター 1 人、いずも権利擁護センター 1 人、生活支援課 1 人、地域福祉課 1 人

- (第 1 回) 実施日 令和 2 年 4 月 2 1 日 (火)  
会 場 出雲市役所 6 0 1 会議室  
参加者 市役所 1 0 人、社協 3 人、事務局 2 人 (市・社協 1 人)  
内 容 ・ 令和 2 年度のワーキンググループ体制について  
・ 総合相談体制の仮運用の開始について  
・ 関係機関一覧表について  
・ 事例紹介
- (第 2 回) 実施日 令和 2 年 5 月 2 0 日 (水)  
会 場 出雲市役所 6 0 1 会議室  
参加者 市役所 1 1 人、社協 4 人、事務局 2 人 (市・社協 1 人)  
内 容 ・ 総合相談体制に係るシステムの導入について  
・ 事例検討について  
・ 今後のスケジュールについて
- (第 3 回) 実施日 令和 2 年 7 月 2 8 日 (火)  
会 場 出雲市役所 6 0 1 会議室  
参加者 市役所 1 1 人、社協 4 人、事務局 2 人 (市・社協 1 人)  
内 容 ・ 「重層的支援体制整備事業」について  
・ 相談支援包括化推進会議について  
・ 事例検討  
・ 今後のスケジュール
- (第 4 回) 実施日 令和 2 年 9 月 2 9 日 (火)  
会 場 出雲市役所 6 0 1 会議室  
参加者 市役所 8 人、社協 5 人、事務局 2 人 (市・社協 1 人)  
内 容 ・ アドバイザー会議 (相談支援包括化推進会議) について  
・ 総合相談で取り扱う案件について  
・ その他  
・ 今後のスケジュール

## 2. 出雲市総合相談事業 (1 0 月～3 月)

(1) 関係機関からの相談・問い合わせ等の状況：2 9 件

(2) 事業対象世帯数：3 世帯

内訳

○世帯分類

単身	高齢者のみ	母子・父子	高齢者と独身の子	3世代同居	その他	合計
1	0	1	0	1	0	3

○年代別人数

20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	合計
2	0	0	4	2	0	4	12

○課題の整理 3件

○ケース検討会の開催 0回

※他の相談機関が開催したケースへの参加 3回

○対応状況

状況	件数
関係機関へつないだ	0
課題解決(終結)	1
課題改善(終結)	0
死去・連絡途絶えた等	0
継続支援中	2
合計	3

(3) 相談支援包括化推進会議 1回

(4) ワーキンググループの実施 3回

出雲市における望ましい総合相談体制の在り方、すぐにでもできる工夫、コーディネーターの役割、具体的な支援策検討の流れ、関係機関の役割分担、地域での福祉課題早期発見のための工夫等について検討した。

構成員：【出雲市】福祉推進課2人、高齢者福祉課2人、医療介護連携課2人、健康増進課2人、子ども政策課1人、総務課（生活・消費相談センター）1人、市民活動支援課1人、【社協】出雲高齢者あんしん支援センター1人、平田高齢者あんしん支援センター1人、いずも権利擁護センター1人、生活支援課1人、地域福祉課1人

(第1回) 実施日 令和2年10月27日(火)

会場 出雲市役所3階 庁議室

参加者 市役所11人、社協5人、事務局2人(市・社協1人)

内容 ・総合相談案件の検証及び困難事例に対する助言について  
 ・一次相談窓口のチェックリストについて  
 ・ケース検討

(第2回) 実施日 令和2年12月16日(火)

会 場 出雲市役所 3階 庁議室  
参加者 市役所 9人、社協 4人、事務局 2人（市・社協 1人）  
内 容 ・一次相談窓口のチェックリストについて  
・相談窓口一覧表配布先について  
・社会資源の無い困難ケースについて

(第 3回) 実施日 令和 3年 1月 22日（金）

会 場 出雲市役所 3階 庁議室  
参加者 市役所 6人、社協 3人、事務局 2人（市・社協 1人）  
内 容 ・総合相談体制に関する関係団体への説明について  
・ケース検討について

(5) 広報・啓発活動 2回

○出雲市役所庁内連絡会 令和 3年 1月 18日（月）

○出雲市民生委員児童委員協議会企画委員会 令和 3年 2月 5日（金）

## 地域支援（地域づくり）

課題解決に向けて当事者を含めた地域住民等によるネットワークの組織化を図り、必要に応じて新たな援助を行うことができる地域社会（福祉コミュニティ）づくりに取り組みました。

### 地域住民の主体的な福祉活動の推進（地域福祉課）

地域住民の主体的な取組により、地域住民が相互に交流する場を拡げ、福祉サービスを必要としている人や世帯を発見し、課題解決を図る活動や相談支援機関等につないでいく仕組みづくりを進めました。

#### 1. 地区社会福祉協議会等活動総合支援事業

住民によって組織された41地区の地区社会福祉協議会等で実施する福祉活動に対して助成しました。また、新型コロナウイルス感染症の影響で従来の福祉活動の実施が難しくなる中、地区社会福祉協議会等の相談に応じ事業内容の変更など、必要な支援を行いました。

重点活動の支援については、子どもの居場所づくりとして「子ども食堂」、地域住民による助け合い活動として「たすけあい活動団体」の新たな取組について支援を行いました。

#### ①事業実施団体数

助成区分		出雲	平田	佐田	多伎	湖陵	大社	斐川	合計
1. 高齢者の健康と福祉を高める活動	見守り・声かけ活動	10(3)	6	1	0	1	1	0	19(3)
	生活応援活動	1	0	0	0	0	0	0	1
	認知症になっても安心して暮らせるまちづくり活動	6(1)	4(2)	0	1(1)	1	1(1)	0	13(5)
	その他高齢者活動	13(1)	11(5)	1	1	1(1)	5(1)	3(1)	35(9)
2. 心身に障がいをもつ人の福祉を高める活動	8(5)	1(1)	0	1	0	0	2(1)	12(7)	
3. 子どもを健やかに育てる活動	子どもの居場所づくり	1	1	0	1	0	0	0	3
	子育てサロン活動	11	2	0	1	0	1	2(1)	17(1)
	子どもの遊び場補修及び新設事業	4	2	0	0	0	3	0	9
	その他子ども対象活動	11(3)	10(3)	1	1	1	3(1)	6(1)	33(8)
4. ボランティアの発掘及び育成のための活動	世話やきボランティア養成講座	8(2)	3(1)	1(1)	1(1)	1(1)	3	0	17(6)
	地区独自の活動	8(1)	3(1)	0	0	0	2(1)	1(1)	14(4)
5. 広報啓発のための活動	地区社協だより発行事業	16	10	1	1	1	4	2	35
	住民座談会	2(2)	0	0	0	0	4(1)	0	6(3)



	その他広報啓発活動	4(1)	2(2)	1	1	0	0	1(1)	9(4)
6. 福祉活動計画を作成するための活動		0	1	0	0	0	0	1(1)	2(1)
7. その他地域福祉活動	地域支え合い研修会	1	0	1(1)	0	0	1	0	3(1)
	相談所設置事業	2	0	0	0	0	0	0	2
	拠点整備事業	2	0	0	0	0	2	2	6
	地区独自の事業	2	1	0	0	0	0	0	3

※ ( ) は返還金<全額>があった団体数。

②助成団体数・助成金交付額

41団体 / 14,553,896円 (内、5,330,812円は返還)

	団体数	助成交付金額		団体数	助成交付金額
出雲	16	6,880,686円	湖陵	1	459,000円
平田	11	2,985,800円	大社	5	1,644,000円
佐田	1	682,000円	斐川	6	1,466,410円
多伎	1	436,000円	合計	41	14,553,896円

2. 地区社会福祉協議会連絡会の開催

地区社会福祉協議会との連絡会を開催し、地区での住民福祉活動の推進やコロナ禍における地区社会福祉協議会活動等についての意見交換や情報交換を行いました。

[出雲]

(出雲地域地区社会福祉協議会会長会)

【会長会定例会】

- (第1回) 内 容 ・令和元年度事業報告・決算について  
 ・令和2年度事業計画・予算(案)について  
 ・任期満了に伴う役員改選について

新型コロナウイルス感染拡大防止のため会議開催を中止し、議案については書面決議。

(第2回) 実施日 令和2年9月30日(水)

会 場 出雲市社会福祉センター

参加者 15地区(15人)

- 内 容 ・令和2年度先進地視察研修について  
 ・令和2年度福祉委員ボランティア全体研修会について  
 ・令和2年度福祉委員活動促進事業について

【会長・事務局長会議】

(第1回) 実施日 令和2年12月10日(木)

会 場 今市コミュニティセンター

参加者 16地区(34人)

- 内 容 ・令和3年度地区社会福祉協議会等活動総合支援事業について

- ・令和3度ふれあいサロン事業について
- ・意見交換

[平田]

(平田地域福祉のまちづくり協議会)

- (第1回) 内 容 ・令和元年度事業報告・決算報告について  
 ・委員退任に伴う役員改選について

新型コロナウイルス感染拡大防止のため会議開催を中止し、議案については書面議決。

- (第2回) 依頼事項 ・共同募金について  
 ・地区慰霊祭への参列自粛について

連絡事項 ・視察研修について

新型コロナウイルス感染拡大防止のため7月予定の会議は中止し、書面にて依頼と連絡を行った。

- (第3回) 実施日 令和2年11月27日(金)

会 場 平田福祉館

参加者 11地区(16人)

- 内 容 ・歳末たすけあい事業について  
 ・出雲市ふれあいサロン活動助成金について  
 ・出雲市高齢者サロン等促進事業について  
 ・地区社協等活動総合支援事業について

- (第4回) 実施日 令和3年3月19日(金)

会 場 平田福祉館

参加者 11地区(16人)

- 内 容 ・令和2年度平田地域福祉のまちづくり協議会事業計画、予算(案)について  
 ・日赤会費の募集について  
 ・令和3年度平田地域戦没者追悼式の開催中止について

[佐田・多伎・湖陵]

(地区社協会長・事務担当者会)

実施日 令和2年12月18日(金)

会 場 多伎地域福祉センター

参加者 3地区(9人)

- 内 容 ・令和3年度地区社協等活動総合支援事業について  
 ・意見交換

[大社]

(地区社協連絡会)

- (第1回) 新型コロナウイルス感染拡大防止のため会議開催を中止。

- (第2回) 実施日 令和2年12月10日(木)

- 会 場 大社行政センター  
 参加者 5 地区（10 人）  
 内 容 ・令和3年度地区社協等総合支援事業について  
 ・令和3年度ふれあいサロン事業について  
 ・地区社協総合支援事業・ふれあいサロン事業の今後の流れについて  
 ・令和2年度（地区社協活動総合支援事業、ふれあいサロン事業）の返還金について

[斐川]

（地区社協会長連絡会）

- （第1回） 新型コロナウイルス感染拡大防止のため会議開催を中止。  
 （第2回） 実施日 令和2年8月6日（木）  
 会 場 斐川行政センター大会議室  
 参加者 6 地区会長、事務局（11 人）  
 内 容 ・地区社協等活動総合支援事業について  
 ・新型コロナウイルス感染予防の留意事項について  
 （第3回） 実施日 令和2年12月7日（月）  
 会 場 斐川行政センター大会議室  
 参加者 6 地区会長、事務局（11 人）、阿宮地区より（2 人）  
 内 容 ・令和3年度地区社協等活動総合支援事業について  
 ・助成金交付各種様式について  
 ・令和2年度地区社協活動助成金交付見込額について  
 （第4回） 実施日 令和3年2月15日（月）  
 会 場 斐川行政センター大会議室  
 参加者 6 地区会長、事務局（11 人）、阿宮地区より（2 人）  
 内 容 ・地区社協総合等活動総合支援事業について  
 ・地区社協活動助成金について  
 ・令和3年度地区社協活動について

### 3. ふれあいサロン活動助成事業

住民主体の高齢者の集いの場づくりを促進しました。身近な場所での仲間づくりの活動や交流を通し、社会参加や介護予防などの健康づくりを進めました。定期的な開催を働きかけ31のサロンが月1回以上の開催となりました。

また、ふれあいサロン活動を行う団体を対象に新型コロナウイルス感染症の対策や再開している活動の様子を伝え運営の支援を行いました。

#### ① 助成団体数・助成額

55 団体 / 24,788,021 円（うち返還額 10,991,911 円）

地域	団体数	助成交付額	地域	団体数	助成交付額

出雲	16	9,653,381円	湖陵	5	1,108,000円
平田	11	5,107,000円	大社	5	2,653,000円
佐田	10	1,503,000円	斐川	7	4,563,640円
多伎	1	200,000円	合計	55	24,788,021円

② 各地域のサロン数、参加人数、年間平均開催数（実績）

	出雲	平田	佐田	多伎	湖陵	大社	斐川	合計
サロン数	203	62	10	13	6	19	22	335
参加人数 (延べ)	10,944	5,475	778	1,734	423	2,241	2,310	23,905
年間平均 開催数	3.8	6.8	6.4	9.3	7.2	10.8	4.7	5.2 (平均)

4. 地域ふれあい見守りネットワーク事業

地区社協や福祉団体等との連携と協働により、地域特性をいかして高齢者等の見守り活動を行いました。

〔多伎〕

○見守り活動

活動者：民生委員、福祉委員他

内 容：毎月の訪問 66世帯

○「あんしんカード」の作成〔緊急時の連絡票〕

配付数：88世帯

○「ほっとだより」の作成〔見守り訪問時に配るおたより〕

作成者：Gさくら（5人）、友楽会（4人）、ひばりのうた（6人）、個人1人

内 容：絵や切り絵、折り紙の作成（95枚/月）

〔湖陵〕

○「あんどカード」の作成〔緊急時の連絡票〕

配付数：174世帯

〔斐川〕

○見守り活動

活動者：民生委員、福祉委員他

内 容：一人暮らし高齢者宅への訪問 426世帯

○「ふれあいレター」〔見守り訪問時に配るおたより〕（奇数月発行）

配付先：一人暮らし高齢者（希望者）197世帯

作成者：ボランティア（絵手紙の作成）

○「お元気ですか」〔見守り訪問時に配るおたより〕（偶数月発行）

配布先：一人暮らし高齢者と見守りの必要な高齢者（希望者）532世帯

内 容：相談機関の情報や季節のお知らせ等

5. 福祉団体活動助成事業

出雲市内で福祉団体等が行う高齢者、障がい者、児童等の福祉の向上を目的とした自主的・積極的な活動に対し助成を行い、地域福祉の充実を図りました。

①助成額 5,970,000円（うち返還額、2,013,157円）

②助成団体 21団体

出雲市遺族会	斐川町遺族会	平田地区更生保護女性会
佐田地区更生保護女性会	出雲市高齢者クラブ連合会※	出雲市身障者福祉協会※
出雲市聴覚障害者協会	出雲市手をつなぐ育成会	平田手をつなぐ育成会※
大社小学校通級指導教室親の会※	手話サークルつつじ会※	子ども・馬に乗る会
認定NPO法人療育センター燦々	出雲市認知症キャラバン・メイト連絡会	NPO法人エスペランサ※
出雲 縁ingトークの会	タンデムサイクルいずも※	こりようブックフレンド
味彩会	てごほ〜む	斐川地域地区社会福祉協議会

※印は返還金のあった団体

## 地域住民等の参加と協働による福祉のまちづくりの推進（地域福祉課）

地域住民（福祉団体・福祉施設）等の参加と協働による支え合いの活動により、安心して暮らすことができるまちづくりを推進しました。

### 1. 認知症高齢者等SOSメール安心ネットワーク事業

認知症や障がいがあっても安心して暮らすことができるまちづくりを推進するため、認知症高齢者等が行方不明になった際に、SOSメール登録者のスマートフォン・携帯電話等に行方不明者情報をメール配信し、早期発見に役立てました。

また、行方不明になることが心配される認知症高齢者等の名前、特徴、写真などの情報をあらかじめ登録する事前登録制度とSOSメール登録者募集のチラシを地域での研修会や行事等で配布し、周知啓発に努めました。

①登録メールアドレス数 1,469アドレス

（新規登録28アドレス、退会7アドレス）

②メール配信件数 5件（行方不明者2人：4件、啓発等：1件）

③事前登録者数 116人（新規登録28人、取消6人）

### 2. 出雲市生活支援体制整備事業

高齢者の在宅生活を支えるために、生活支援サービスの充実を図るとともに、地域における支え合いの体制づくりに取り組みました。

新型コロナウイルス感染症の影響で地域における支え合いの体制づくりが難しい状況下、たすけあい活動団体に向けての実態調査の実施や民間助成金を活用した運営支援など、コロナ禍でもできることを中心に取り組みました。

#### (1) 地域における支え合いの体制づくり

①ステップ1 地域支え合い研修会

たすけあい活動の必要性の理解を深め、支え合いの意識醸成を行う研修会を実施しました。

【目標】未実施8地区で開催

【実施状況】9地区で開催（内、未実施4地区で開催）

実施回数 9回

参加者数 延べ149人

②ステップ2 「さあ話し合おう」（ワークショップ）

地域の現状・資源・課題の把握を行うとともに、目指す地域像を共有する計画でしたが実施できませんでした。

【目標】未実施6地区で開催

【実施状況】0地区

実施回数 0回

参加者数 延べ0人

③ステップ3 地域支え合い会議

住民が主体となって、地域課題解決に向けた話し合いを行い、地域の支え合いの仕組みづくりの検討をしました。

【目標】未実施5地区で開催

【実施状況】9地区（その他既に実施した地区や圏域を超えた団体など）

【新たなたすけあい活動団体】

・朝山お助けマン互助会「ささえ愛」（令和3年4月発足予定）

(2) 生活支援サービスの充実（住民による支え合い（生活支援）の場づくり）

①生活支援（たすけあい活動）団体ネットワーク

生活支援（たすけあい活動）を行う団体が連携協働して、生活支援サービスの充実が図れるよう連絡会を開催しました。

令和2年10月30日（金）：第1回住民参加型在宅福祉サービス団体連絡会

②たすけあい活動団体に関する実態調査

たすけあい活動団体の共通の課題である「担い手（活動者）の確保」についての現状や課題、各団体の運営状況等の実態を把握するため、市内のたすけあい活動団体にヒアリング調査を行いました。

【ヒアリング期間】令和2年12月～令和3年1月

【ヒアリング対象】たすけあい活動団体 16団体

③社会資源情報の見える化（「てごナビ」）

市内の社会資源情報の把握し、高齢者や家族及びその人たちを支援する者が簡便に必要な情報を取得できるように、暮らしのお役立ち情報『てごナビ』（<http://tegonavi.com/>）を運用しました。

【掲載事業所数】81事業所

【ページビュー数(訪問数)】 30, 859件

④「出雲市たすけあい活動団体パンフレット」による啓発

支援を必要とする人の利用促進と新たな活動者の掘り起こしのために、生活支援(たすけあい活動)団体の情報を掲載したパンフレットを発行し、関係団体・機関等へ配付しました。

⑤協同組合系組織との協働

協同組合で組織する地域つながりセンター出雲交流会参加団体と協働して、各団体が抱える課題や困難ケースの事例を共有し、解決方法を探る事例検討などを行いました。

・令和2年12月11日(金) 第1回事例検討交流会

・令和3年2月19日(金) 第2回事例検討交流会

(3) 生活支援コーディネーターの取組状況

活動状況	件数	内容
研修(講師)	42	地域での支え合い(見守り、居場所、支え合い)についての研修講師
ネットワーク会議・連絡会	11	団体連絡会など関係する団体とのネットワーク化を図る会(例:住民参加型福祉サービス団体連絡会)
相談・支援	56	生活支援サービス提供団体からの相談、立ち上げに向けた相談や働きかけなど
定例会	1	市との体制整備事業についての推進会議
外部会議への参加・説明	59	外部の機関・団体による会議への参加及び事業説明(例:地域つながりセンター交流会、外部機関の行事打合せなど)
研修実施	8	支え合い活動などの担い手研修、フォーラムなど【協議等含】(例:地域支え合いフォーラム)
ニーズ把握・社会資源把握	27	社会資源情報の把握・見える化や全市的な課題やニーズの把握など【協議等含】 サロン活動等の状況把握等の参加
外部研修への参加	20	外部の機関・団体による研修への参加
内部協議	34	内部(あんしん支援センター、市)における協議、会議
視察	0	先進地への視察
視察対応	1	外部からの視察対応
その他	96	
	355	

3. 住民参加型在宅福祉サービス事業

住民が地域で安心して暮らすことができるよう、公的サービスでは対応できない地域のニーズを解決するために、住民相互の助け合いによる有償の福祉サービスを実施しました。

(1) たすけあいボランティア事業

利用会員の要望に応じて、協力会員が家事援助、通院の付き添いや話し相手(見

守り)等を行いました。

①会員数 (利用会員93人、協力会員55人、賛助会員10人)

	出雲	平田	佐田	多伎	湖陵	大社	斐川	市外	合計
利用会員	78	1	0	8	0	6	0	0	93
協力会員	37	2	0	12	0	3	1	0	55
賛助会員	8	1	0	0	0	0	0	1	10

②利用状況 1, 286件 / 2, 219時間

内容	利用件数	利用時間	内容	利用件数	利用時間
衣類の洗濯等	3	4	住居の補修	7	22
住居の掃除等	724	1, 137	食事の支度	143	279
買物等	154	189	軽易な介護	0	0
外出の介助等	49	116	保育・養育	29	58
話し相手	23	50	その他	46	62
草取り等	108	302	合計	1, 286	2, 219

(2) すこやか訪問事業

出産後子育てに不安な養育者に対して家事援助や育児援助を行いました。

- ・利用世帯：1世帯

4. 共同募金歳末助け合い事業

年末時期に、一人暮らし高齢者世帯や低所得世帯等に対して、家屋修繕や清掃等の生活援助、交流事業、地域の福祉団体への助成等を行いました。

[出雲]

- 75歳以上の高齢者世帯や障がい者のみの世帯の希望者に対して、小規模な家屋修繕または障子の張り替えを行いました。

- ・実績：67世帯

[平田]

- 支援が必要な方を対象として、地区社協やボランティアグループ等が主体的に行う活動等へ助成を行いました。

- ・実績：10地区社協及び1団体

[佐田]

- 70歳以上の一人暮らし高齢者や75歳以上の高齢者世帯に対して、声かけによる安否確認を兼ねて、民生委員の協力によりアルファ化米を贈りました。

- ・実績：203世帯

[多伎]

- 75歳以上の一人暮らし高齢者世帯の希望者に対して、障子や襖の張替え、年末大掃除、建具小修繕等を行いました。

- ・実績：障子・襖の張替え、建具小修繕 49世帯  
大掃除(窓拭き、剪定他) 38世帯

- 在宅介護家庭、見守り登録世帯に対して蕎麦やクッキー等を贈りました。

- ・実績：在宅介護世帯 13世帯



地域ふれあい見守りネットワーク事業登録世帯 76世帯

○一人親世帯へトマトソース、アルファ化米、クッキーを贈りました。

・実績：23世帯

○多伎小児童(3～6年生)が年賀状を作成し、見守り登録者宅へ送りました。

・実績：76世帯(93人)

[湖陵]

○80歳以上の一人暮らし高齢者や高齢者世帯に対して、声かけによる安否確認を兼ねて、アルファ化米を贈りました。

・実績：117世帯

[大社]

○80歳以上の一人暮らし高齢者世帯、一人親世帯、支援を必要とする世帯に対して、障がい者就労継続支援事業所なかよしのクッキーと大社ご縁スタンプ券を贈りました。

・実績：389世帯

## 福祉サービスの提供 (地域福祉課)

### 1. 車いす貸出事業

在宅の高齢者、障がい者等で車いすを必要とする人に車いすを無料で貸し出しました。

貸出件数

出雲	平田	佐田	多伎	湖陵	大社	斐川	合計
190	11	9	19	0	46	21	296

### 2. ガイドヘルプ事業

障がい者総合支援法による地域生活支援事業(移動支援事業)を実施し、視覚障がい者に対して、外出時の安全のためにガイドヘルパーを派遣しました。

また、通院時の院内付添い等移動支援事業の給付の対象外になる部分については独自にサービスを提供しました。

① 職員体制 ガイドヘルパー 13人(常勤1人、登録12人)

② 実利用者数 26人

③ 利用実績

区分	利用日数	利用時間
個別支援	1,038	2035.5
給付対象外	215	191.0
グループ支援	14	44.0
合計	1,052	2079.5

内訳(サービス利用内容別)

区分	利用日数
日常生活	837

通院	215
合計	1,052

## 社会福祉法人等との連携・協働及び支援等（総務課、地域福祉課）

社会福祉法人等の福祉事業者や福祉関係者・団体との連携・協働により地域福祉を推進するとともに、福祉団体の支援を行いました。

### 1. 社会福祉法人による地域貢献活動推進事業

市内で社会福祉事業を行っている社会福祉法人により設立された「地域貢献のための出雲市社会福祉法人連絡協議会」及び斐川地域の社会福祉法人により設立された「斐川地域社会福祉法人の地域貢献連絡会」の事務局を担当しました。

[地域貢献のための出雲市社会福祉法人連絡協議会]

①加入法人数 40法人

②総会 内 容 ・第1号議案 令和元年度事業報告について  
 ・第2号議案 令和元年度決算について  
 ・第3号議案 令和2年度事業計画について  
 ・第4号議案 令和2年度予算について

新型コロナウイルス感染拡大防止のため会議は中止し、議案については書面決議。

③役員会

(第1回) 実施日 令和2年4月8日(木)

内 容 ・令和元年度事業報告及び決算(案)について  
 ・令和2年度事業計画及び予算(案)について  
 ・今後のスケジュールについて

④実施事業

・事業継続計画づくり、出雲市と指定福祉避難所会員法人との協議、協定の締結について実施予定としていましたが、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受け、出雲市と指定福祉避難所会員法人との協議の場を設置することができませんでした。

[斐川地域社会福祉法人の地域貢献連絡会]

①加入法人数 11法人

②総会 内 容 ・役員について  
 ・平成31年度事業報告、決算について  
 ・令和2年度事業計画、予算について

新型コロナウイルス感染拡大防止のため会議は中止し、書面にて議決。

③会議

(第22回) 実施日 令和3年2月18日(木)

内 容 ・令和3年度斐川地域の地域貢献活動について

2. 高齢者マッサージサービス事業

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止しました。

3. 団体支援等

(1) 出雲市民生委員児童委員協議会など社会福祉団体の支援

(2) 島根県共同募金会出雲市共同募金委員会

(3) 日本赤十字社島根県支部出雲市地区

4. その他の事業

(1) 戦没者追悼事業

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止しました。

[出雲] 出雲地区戦没者追悼式

[平田] 平田地域戦没者追悼式

[佐田] 佐田町戦没者追悼式

[多伎] 多伎町戦没者追悼式

[湖陵] 湖陵町戦没者追悼式

[大社] 大社町戦没者慰霊祭(仏式)

[斐川] 斐川町戦没者追悼式

## 人材育成（人づくり）

地域福祉活動への理解と関心を高めるとともに、社会福祉に関する活動に参加する人を増やし、またその活動を活発にするための取組を進めました。

### ボランティア活動の促進（地域福祉課）

ボランティアまちづくりセンターにおいて、ボランティア活動に関する相談や情報提供を行うとともに、ボランティア活動をコーディネートしました。また、ボランティア保険加入手続きや備品・活動場所の貸出などの活動支援を行いました。併せて、ボランティア活動の担い手の育成とネットワークの拡大を図る取組を進めました。

#### 1. ボランティアまちづくりセンターの運営

ボランティア活動への関心を高め、活動への参加促進を図るため、ボランティアまちづくりセンターを設置し、ボランティアコーディネーターを配置しました。ボランティア活動に関する相談、情報提供、必要に応じた調整等を行いました。

新型コロナウイルス感染症の影響により、自宅でもできるボランティア活動を希望される方が多数おり、活動の紹介を行いました。また、外国籍の方を支援するボランティア活動を希望される方の相談に応じ、ボランティアの紹介・調整を行いました。

#### (1) 相談件数等

	相談	紹介		活動場所の提供	
		うち活動希望	うち派遣希望		
出雲	246	22	21	1	81
平田	84	2	2	0	26
佐田	10	0	0	0	0
多伎	34	8	0	8	14
湖陵	4	16	0	16	0
大社	34	1	0	1	23
斐川	79	7	1	6	1
合計	491	56	24	32	145

#### (2) 保険関連件数

ボランティア活動中のケガ等の補償のため、「ボランティア活動保険」の加入手続きや請求手続きを行いました。また、地域で開催される行事のための「ボランティア行事用保険」等、各種保険の加入・請求手続きを行いました。

ボランティア活動保険		
加入件数	延べ人数	請求手続き件数
157	2,814	3

(3) ボランティア登録数

	団体数	団体人数	個人
出雲	73	2,750	84
平田	14	299	1
佐田	3	32	0
多伎	10	307	0
湖陵	7	107	17
大社	8	67	7
斐川	12	215	2
合計	127	3,777	111

(4) ボランティア活動支援

[平田]

住宅修繕奉仕活動

内 容 平田地域のひとり暮らし高齢者を対象にした簡易な住宅修繕と相談

実施日 下見：令和2年11月29日（日）、実施：12月6日（日）

活動者 平田建築組合青年部

訪問世帯 38世帯

(5) 民間助成金情報の提供

社会福祉法人及びNPO法人、ボランティアグループなどの福祉活動を財源面から支援する各種民間助成金について、情報提供及び相談対応を行いました。

①助成金情報の提供

・各団体への情報提供回数 33回

・情報提供した団体数 64団体

各団体への提供件数 延べ1784件

②相談対応 15団体に対して延べ24件

(6) アンケート調査

新型コロナウイルス感染症の影響により、出雲市内の多くのボランティアが活動の自粛を余儀なくされました。そこで、本会が把握する出雲市内のボランティア団体を対象に、ボランティア活動実施状況等に関するアンケート調査を行いました。

[調査内容]

・実施期間：令和2年10月30日（金）～11月27日（金）

・調査依頼をした団体数：69団体

・回答した団体数：33団体（回答率：47.8%）

・調査内容：ボランティア活動に関するアンケート調査

（新型コロナウイルス感染症の影響による活動の現状等について、

### 新規ボランティア募集の有無等)

- ・調査方法：郵送またはメールにてアンケート用紙を送付
- ・回答方法：FAX、メール、持参のいずれかの方法で回答

#### [調査結果]

- ・ボランティア活動の実施状況について  
活動継続または再開率：28% 活動の中止または縮小率：72%
- ・活動の様子について（抜粋）  
コロナの影響で活動の中止／活動の自粛／感染症対策をして活動を再開／朗読等をCDにして施設に配達している／オンラインの活動に切り替えた等

## 2. 技術ボランティアの養成

- (1) 手話奉仕員養成講座
- (2) 手話奉仕員フォローアップ研修
- (3) 手話通訳者養成講習会を目指す学習会
- (4) 要約筆記奉仕員フォローアップ研修  
(1)～(4)については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため本会では実施せず、市が直営で実施されました。
- (5) 点訳奉仕員養成講座
- (6) 広報音訳ボランティア養成講座
- (7) 広報音訳ボランティアフォローアップ研修  
(5)～(7)については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止しました。

## 3. ボランティア活動に参加する人の拡大

### (1) ボランティア講座

新型コロナウイルス感染症の影響により、ボランティア活動を自粛、縮小するなか、活動の再開、または、これから活動を始めたい方等へのきっかけを作る講座を開催しました。

#### ①ボランティア活動者のためのコミュニケーション講座

ボランティア活動者がコミュニケーションの理念や技法を学び、ボランティア活動の充実を図ることを目的として開催しました。

実施日 令和2年12月8日(水)

会場 出雲市社会福祉センター

講師 鳥取大学院医学系研究科 准教授 竹田伸也氏(リモートによる講義)

参加者 42人

#### ②コロナ禍における「ボランティア活動」を考える講座

コロナ禍におけるボランティア活動のあるべき姿や工夫、感染対策等をどのようにするかについて学び合い、ボランティア活動の推進を図ることを目的として

開催しました。

実施日 令和3年3月2日（火）  
会 場 今市コミュニティセンター  
講師等 基調説明 出雲保健所 保健師 北廣夕貴氏  
実践発表者 輪や和や食堂 深津富美子氏、古家佳子氏  
手話サークルつつじ会 昌子誠氏  
参加者 28人

## （2）社会福祉施設ボランティア推進研修会

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止しました。

## 福祉教育の推進（地域福祉課）

福祉コミュニティづくりを進めるため、地域において生涯にわたる福祉教育の展開を目指して、学校や地域社会、企業等において福祉教育を推進しました。

特に、障がい者に関する取組については、当事者とともに実施することで、障がい者に対する正しい認識と関わりについて理解を深めました。

### 1. 福祉教育推進事業

学校や地域、職場等において、地域住民が福祉への関心を高め、理解を深めるための福祉教育を推進しました。

#### （1）福祉教育連絡会

〔大社・斐川〕

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止しました。

#### （2）サマーボランティアスクール

〔斐川〕

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止しました。

#### （3）福祉学習支援

小学校、中学校、高等学校、企業等に対して、車いすやアイマスク等の貸出や福祉学習プログラムへの助言を行うとともに、職員を講師として派遣しました。

#### （4）あいサポート運動推進事業

多様な障がいの特性や障がい者が日常生活の中で、工夫していること、困っていること、障がい者への配慮等を理解し、日常生活の中でちょっとした手助けを行う「あいサポーター」を普及し、障がい者が暮らしやすい地域社会づくりを進めました。

①福祉学習支援活動実施回数・受講人数（福祉学習支援及びあいサポート運動）

	一般・団体		企業・事業所		学校		合計	
	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
出雲	17 (10)	397 (185)	4 (4)	76 (76)	32 (19)	1,917 (1227)	53 (33)	2,390 (1,488)
平田	4 (2)	69 (37)	0 (0)	0 (0)	12 (3)	333 (85)	16 (5)	402 (122)
佐田	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
多伎	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)	66 (0)	2 (0)	66 (0)
湖陵	1 (0)	30 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)	120 (0)	3 (0)	150 (0)
大社	1 (1)	35 (35)	0 (0)	0 (0)	6 (1)	208 (47)	7 (2)	243 (82)
斐川	2 (0)	64 (0)	0 (0)	0 (0)	13 (2)	686 (122)	15 (2)	750 (122)
合計	25 (13)	595 (257)	4 (4)	76 (76)	67 (25)	3,330 (1,481)	96 (41)	4,001 (1,814)

※地域は実施した機関や団体の所在地域での実績です。

※各地域下段の数字は、福祉教育のうち「あいサポート運動」としての実績です。

②外部講師紹介件数 学校 15件

災害時のボランティア活動の支援（地域福祉課）

1. 災害ボランティアセンターの設置運営

災害発生時に、被災者ニーズに対し円滑に応える体制づくりや住民の防災意識の向上を図ることを目的に、出雲市及び出雲市総合ボランティアセンターと共同で訓練を行いました。

今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響から、感染症拡大防止対策を講じながら、災害ボランティアセンターを運営するかに焦点を当て実施しました。

実施日 令和2年9月1日（火）

会場 出雲市役所くにびき大ホール

参加者 出雲市災害対策本部、出雲市社会福祉協議会、  
出雲市総合ボランティアセンター、隊友会



# 法人運営

---

民間団体としての主体的な経営判断を行ない、かつ地域に開かれた組織体制を確立し、公共性と民間性をあわせ持つ地域福祉を推進する団体として、住民に信頼される組織の確立を図りました。

## 信頼にこたえる法人運営（総務課）

経営管理体制の強化と安定的な財務運営及び地域に開かれた組織体制の確立に努めました。

### 1. 法人運営事業

#### (1) 組織運営

- ・役員会等の開催（評議員会、理事会、監査会、正副会長会）
- ・定款、諸規程の整備
- ・本所・支所との連絡調整

[会議]

#### ①正副会長会

令和2年6月5日（金）

令和2年9月28日（月）

令和3年3月10日（水）

#### ②理事会

第67回理事会

令和2年6月10日（水）

議第300号 社会福祉法人出雲市社会福祉協議会役員等の報酬、費用弁償に関する規則の一部改正について

議第301号 令和元年度事業報告について

議第302号 令和元年度決算について

議第303号 社会福祉法人出雲市社会福祉協議会評議員選任・解任委員会への評議員選任候補者の推薦について

議第304号 令和2年度第1回評議員選任・解任委員会の招集について

議第305号 令和2年度社会福祉事業区分資金収支第1回補正予算について

議第306号 第59回評議員会（定時）の招集について

第68回理事会

令和2年12月9日（水）

議第307号 令和2年度社会福祉事業区分資金収支第2回補正予算について

議第308号 第60回評議員会（臨時）の招集について

## 第69回理事会

令和3年3月16日（火）

- 議第309号 社会福祉法人出雲市社会福祉協議会嘱託職員就業規則の一部改正について
- 議第310号 社会福祉法人出雲市社会福祉協議会職員退職手当差額等積立金規程の一部改正について
- 議第311号 社会福祉法人出雲市社会福祉協議会嘱託職員退職手当及び退職慰労金に関する規程の一部改正について
- 議第312号 令和2年度社会福祉事業区分資金収支第3回補正予算について
- 議第313号 令和3年度事業計画及び資金収支予算について
- 議第314号 第61回評議員会（3月）の招集について

### ③評議員会

第59回評議員会（定時）（※決議の省略）

- 議第211号 社会福祉法人出雲市社会福祉協議会役員等の報酬、費用弁償に関する規則の一部改正について
- 議第212号 令和元年度事業報告について
- 議第213号 令和元年度決算について
- 議第214号 令和2年度社会福祉事業区分資金収支第1回補正予算について

第60回評議員会（臨時）（※決議の省略）

- 議第215号 令和2年度社会福祉事業区分資金収支第2回補正予算について

第61回評議員会（3月）

令和3年3月26日（金）

- 議第216号 令和2年度社会福祉事業区分資金収支第3回補正予算について
- 議第217号 令和3年度事業計画及び資金収支予算について

### ④監査会

令和2年5月26日（火）

- 令和元年度事業報告について
- 令和元年度決算について

## (2) 経営基盤の確立

- ・会員（一般会員、団体会員、賛助会員）の拡充
- ・財務運営の安定化（会費、寄附の受納、共同募金運動の促進、積立金の適正管理）

[会費収入等]

①会費収入額	38,619,900円
・一般会費	34,958,900円
・団体会費	690,000円
・賛助会費	2,971,000円
②寄附金収入額	22,468,184円
・一般寄附金	10,420,684円(70件)
・香典返し寄附	12,047,500円(597件)
③共同募金助成(令和元年度募金 B助成)	15,108,688円

### (3) 経営管理の充実

- ・会計、税務、財務の適正管理
- ・人事、労務の適正管理
- ・個人情報保護の適正対応
- ・苦情解決体制の充実と適正対応
- ・リスク管理の徹底
- ・健康経営の推進
- ・受託事業等に係る契約の適正管理

#### [労務管理]

##### ①衛生委員会

毎月、産業医と労働安全衛生計画で定めた事業計画の執行状況について確認しました。

産業医：塩飽邦憲氏

##### ②健康・メンタルヘルス相談

職員を対象に健康とメンタルヘルスに関する相談を実施しました。

実施日 令和2年5月26日(火)、6月16日(火)、8月18日(火)、  
9月15日(火)、10月20日(火)、11月17日(火)、  
12月15日(火)、  
令和3年1月19日(火)、2月16日(火)、3月16日(火)

会 場 出雲市社会福祉センター

相談員 塩飽邦憲氏(産業医)

#### [苦情解決の状況]

- ・苦情受付件数 9件
- ・苦情の内容 職員の対応に関すること 7件  
事業に関すること 1件  
その他 1件
- ・苦情解決件数 8件

[契約等の取扱]

一般競争、指名競争の状況

- ・件名 令和2年度「社協だよりいずも」印刷
- ・契約方法 指名競争入札
- ・予定価格 1,766,600円(税込)
- ・契約金額 1,647,976円(税込)
- ・契約の相手方 株式会社 報光社

(4) 関係機関との連絡調整

- ・行政機関（出雲市、出雲保健所等）
- ・社会福祉協議会（島根県社会福祉協議会、県内の市町村社会福祉協議会等）
- ・福祉団体
- ・福祉施設等

(5) 役職員の研修

①内部研修

[新任職員研修]

(1回目)

実施日 令和2年4月9日(木)

参加者 職員4人

内容 会長・常務理事による講義等

(2回目)

実施日 令和2年7月29日(水)

参加者 職員5人

内容 会長・常務理事による講義等

[新任職員研修(各課・センター、経理)]

(1回目)各課、センター

実施日 令和2年5月22日(金)

参加者 職員9人

内容 各課長・センター長による講義等

(2回目)経理

実施日 令和2年5月29日(水)

参加者 職員5人

内容 経理処理説明

[新任職員マナー研修]

実施日 令和2年6月5日(金)

参加者 職員1人

内容 社会人のビジネスマナー

〔全職員研修〕新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止しました。

〔メンタルヘルス研修〕オンライン及び複数会場にて実施しました。

実施日 令和3年2月22日（月）、3月1日（月）

参加者 職員 91人

講師 鳥取大学大学院医学系研究科 臨床心理学専攻  
准教授 竹田伸也 氏

〔人権研修〕新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止しました。

## ②外部研修

- ・OJT推進研修
- ・コミュニティソーシャルワーク実践基礎研修
- ・社協中堅職員研修
- ・新任職員マナー研修
- ・人事管理研修 I
- ・島根県立中央病院地域医療研修会 ～COVID-19（新型コロナウイルス感染症）これまでの対応と備え～
- ・労務管理研修
- ・「地域における権利擁護体制づくり」を考えるセミナー
- ・「明るくてやさしい成年後見制度ちゅうごくブロックセミナーin岡山」
- ・DV関係支援者研修会
- ・ギャンブル関連問題関係者セミナー
- ・家計改善支援事業従事者養成研修
- ・後見人等への意思決定支援研修
- ・成年後見制度施行20周年記念シンポジウム「成年後見制度の未来」～任意後見制度の利用促進と民事信託～
- ・生活困窮者自立支援 全国研究交流会
- ・生活困窮者自立支援制度における農業分野等との連携強化モデル事業シンポジウム『生活困窮者の就労に向けて ～農業での新たな人生へのチャレンジ～』
- ・生活困窮者自立相談支援人材養成研修（テーマ別研修）
- ・生活困窮者自立相談支援人材養成研修（基礎研修）
- ・全国権利擁護支援ネットワーク全国フォーラム
- ・日常生活自立支援事業専門員研修会・連絡会
- ・伴走型支援士認定講座
- ・「ふくしの学び合い」推進者研修
- ・【緊急】新型コロナウイルス感染が懸念される状況における災害ボランティアセンター設置・運営に関する勉強会
- ・コロナ禍における災害ボランティア運営研修会
- ・ボランティア・市民活動シンポジウム「誰ひとり取り残さないためのボラ

ンティア・市民活動の挑戦」 ～持続可能な私づくり、社会づくり～

- ・ボランティアコーディネーション研修
- ・ボランティアコーディネーター基礎研修
- ・災害ボランティアセンター運営者養成講座
- ・市民の参加と協働を進める多様なコーディネーション実践研究集会
- ・親学プログラム ファシリテーター養成講座兼フォローアップ講座
- ・生活支援コーディネーター情報交換会
- ・全国ボランティアコーディネーター研究集会

③自己啓発研修の推進

- ・自己啓発援助制度による援助決定：8件

## 広報啓発活動の推進（総務課・地域福祉課）

社協の存在や役割を広く伝え、地域住民の社協に対する理解と共感を広げ、認知度を高める取組を進めました。

### 1. 出雲市総合社会福祉大会の開催等

#### (1) 出雲市総合社会福祉大会の開催

新型コロナウイルス感染拡大防止のため大会開催は中止しました。

市社会福祉協議会会長表彰及び感謝 78人、5団体

#### (2) しまね県民福祉大会への参加

新型コロナウイルス感染拡大防止のため大会は中止された。

#### (3) 各種表彰の候補者の推薦

- ・島根県社会福祉協議会会長表彰・感謝 10人・1団体
- ・島根県知事感謝 2人
- ・厚生労働大臣表彰（ボランティア功労） 2団体

### 2. 「社協だよりいずも」の発行

住民へ広く本会の取組を周知し、また福祉情報を提供するために2ヶ月に1回、「社協だよりいずも」を発行し、市内各世帯へ配付しました。

発行月 4月、6月、8月、10月、12月、2月

発行部数 48,800部（1回当たり）

### 3. 音訳広報・点訳広報発行事業

各種広報の内容を音声で録音した音訳広報と点字版の「社協だよりいずも」をボランティアグループの協力により制作し、希望する視覚障がい者に送付しました。

(1) 音訳広報発行

①音訳広報「広報いずも」

内 容 「広報いずも」第254号～第265号

発行回数 12回

利用者数 延べ605人

作成者 音訳ボランティアいずも、音訳グループやまびこの会、  
斐川音訳ボランティアトゥインクル

②音訳広報「いずも市議会だより」

内 容 「いずも市議会だより」第60号～第63号

発行回数 4回

利用者数 延べ202人

作成者 音訳ボランティアせせらぎ

③音訳広報「社協だよりいずも」

内 容 「社協だよりいずも」第127号～第132号

発行回数 6回

利用者数 延べ300人

作成者 朗読ボランティアひばりのうた

④新型コロナウイルス感染症に関する臨時の発行物

内 容 健康相談窓口設置情報（県内発生時）

健康相談窓口設置情報（市内発生時）

広報いずも 臨時号

出雲市議会だより 臨時号

発行回数 4回

利用者数 延べ203人

作成者 音訳ボランティアいずも、音訳グループやまびこの会

⑤音訳図書（プライベートサービス）

図 書 4冊

新聞コラム 通年

利用者数 3人

作成者 音訳ボランティアいずも、音訳グループやまびこの会、  
斐川音訳ボランティアトゥインクル、音訳ボランティアせせらぎ、  
朗読ボランティアひばりのうた

(2) 点訳広報発行

①点訳広報「社協だよりいずも」

内 容 「社協だよりいずも」第127号～第132号

発行回数 6回

利用者数 延べ43人  
作成者 出雲市アイアイ会  
②点訳図書（プライベートサービス）  
利用実績なし

#### 4. ホームページの運営管理

住民へ広く社協活動を周知し、また福祉情報を提供するために、ホームページを運営しました。住民、福祉事業者、ボランティア団体等が情報発信できる場を設け、福祉活動の活性化を図りました。

①ページビュー数 107,330件

##### ②記事掲載数

「社協の活動紹介」	54件
「地域の活動紹介」	32件
「福祉掲示板」	28件
「研修情報」	4件

#### 5. 出雲市民余芸大会の開催

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止しました。

### 中期的な計画の推進（総務課）

#### 1. 地域福祉活動計画推進事業

出雲市と一体的に策定した「第3次出雲市地域福祉計画・地域福祉活動計画」について、出雲市地域福祉計画・地域福祉活動計画推進委員会を開催し、進捗管理を行いました。

また、計画期間内に「総合的な相談体制の確立」を掲げており、福祉課題が複雑多様化する中、それらを包括的に受け止めることができる相談支援体制の整備を出雲市と共に取り組みました。

##### (1) 出雲市地域福祉計画・地域福祉活動計画推進委員会の開催 (第1回)

開催日	令和2年6月2日（火）
出席者	委員13人、事務局6人（社協3人、市3人）
会場	出雲市役所 全員協議会室
内容	・委員委嘱及び委員・事務局紹介 ・出雲市長あいさつ ・出雲市社会福祉協議会会長あいさつ



- ・委員長及び副委員長の選出
- ・市民意識調査実施手法について
- ・総合相談体制の構築に向けた取組状況について
- ・令和2年度の出雲市地域福祉計画・地域福祉活動計画推進委員会実施スケジュールについて

(第2回)

- 開催日 令和2年11月6日(金)
- 出席者 委員14人、事務局6人(社協3人、市3人)
- 会場 出雲市役所 全員協議会室
- 内容
- ・総合相談体制に係る取組状況について
  - ・市民アンケート調査結果について
  - ・令和2年度の出雲市地域福祉計画・地域福祉活動計画推進委員会実施スケジュールについて

(第3回)

- 開催日 令和3年3月12日(金)
- 出席者 委員13人、事務局6人(社協3人、市3人)
- 会場 出雲市社会福祉センター
- 内容
- ・市民アンケート調査結果に係る年代別傾向について
  - ・市民アンケート調査結果に係る各施策の評価
  - ・総合相談事業に係る取組状況について
  - ・令和3年度の出雲市地域福祉計画・地域福祉活動計画推進委員会の開催について

災害見舞への取組 (総務課)

1. 災害見舞金事業

火災や風水害等自然災害で被災された6件6世帯へ見舞金および死亡弔慰金をおくりました。

- ・見舞金(1世帯10,000円)5世帯
- ・死亡弔慰金(1人10,000円)1世帯

会館管理 (総務課)

1. 会館管理事業

各センターの適正な管理運営に努めました。

(1) 出雲市社会福祉センター管理運営事業

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年4月14日から貸館業務を休止とし、令和2年7月27日より一部利用制限を設け、貸館利用の再開を

しました。

- ・開館日数 249日
- ・利用回数 596回（有料8回、無料588回）
- ・利用者数 4,603人

(2) 多伎地域福祉センター管理運営事業

- ・開館日数 264日
- ・利用回数 860回
- ・利用者数 14,562人

(3) 平田福祉館管理運営事業

- ・開館日数 244日
- ・利用回数 377回
- ・利用者数 1,581人

## 新型コロナウイルス感染症対策

### 1. 方針の決定

月例の経営会議の他、新型コロナウイルス感染症の状況に応じて臨時の経営会議を開催し、新型コロナウイルス感染症対策について方針を決定し、対策の具体化を進めました。

### 2. 職員の感染予防対策

- ・特別休暇による出勤者の削減（4月20日～5月8日）
- ・基本的な感染予防の徹底（「三密」の回避、こまめに換気、人と人との距離の確保、マスク着用、手洗いなどの手指衛生、毎朝の体温測定、体調チェック）、行動記録等
- ・消毒液の設置、マスク配付、非接触式体温計の購入、飛沫感染防止用衝立の設置、業務用車両の使用後の消毒等

### 3. 施設利用への対応

- ・4月14日に施設利用を中止（自粛要請）
- ・7月1日に施設利用方針をまとめる。
- ・利用できる団体や日時、部屋の利用可能人数等を限定、使用する際の留意事項（利用者の体調確認、使用後の机やいすの消毒等）の周知

### 4. 業務継続のための体制構築

- ・本所に勤務する職員の一部を平田支所に分散勤務（4月22日～5月31日）

- ・オンライン会議の実施・参加に必要な機材や通信環境の整備
- ・オンライン会議への参加、オンライン研修の実施等

## 5. 事業

新型コロナウイルス感染症にかかわる失業・休業が広がり、社会不安が増大する中実施された中央共同募金会、島根県共同募金会の助成事業を活用して、さまざまな事業に取り組みました。

### (1) フードバンクのための保冷库整備事業

市民や企業から寄附して頂いたお米を保存するための保冷库を整備しました。

### (2) 緊急フードドライブ事業

市民や企業から寄附して頂いた食品・日用品を、失業中の人や収入が途絶えた学生、ひとり親家庭など経済的に困窮する様々な人々へ届け、生活を支えるため実施しました。

開催回数：2回（9月19日、12月12日）

協力者：372の個人・団体

利用者：延べ約530人（国籍：日本、ベトナム、フィリピン、バングラデ  
イッシュ、ブラジル等）

会場：出雲市社会福祉センター

### (3) オンライン福祉相談事業

来所相談に抵抗を感じる方が、オンラインで福祉の相談ができるように整備しました。

開設日：令和2年11月24日

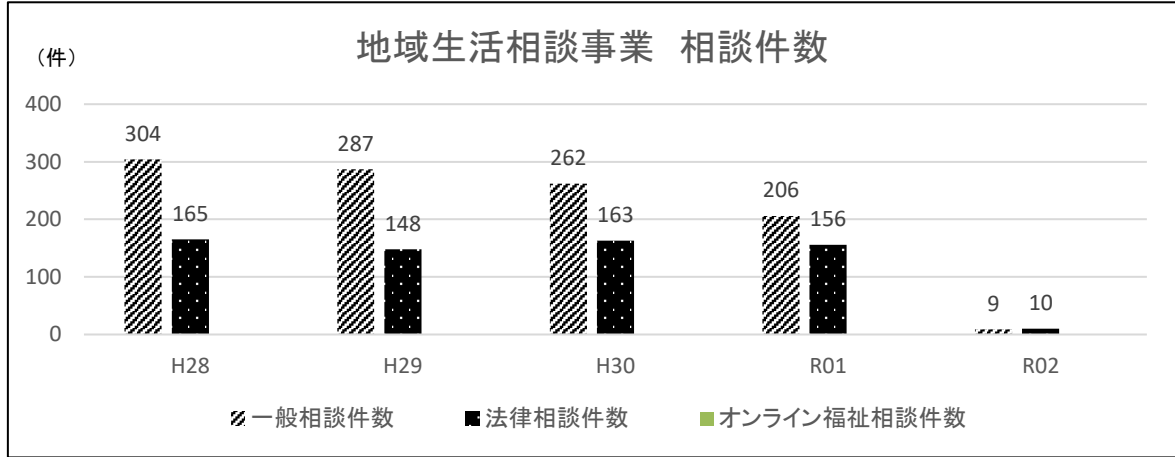
### (4) ボランティア団体リモート会議支援環境整備事業

ボランティア団体がリモート会議に参加出来るよう、タブレットPC及びWIFI機器を設置し、支援環境の整備を実施しました。

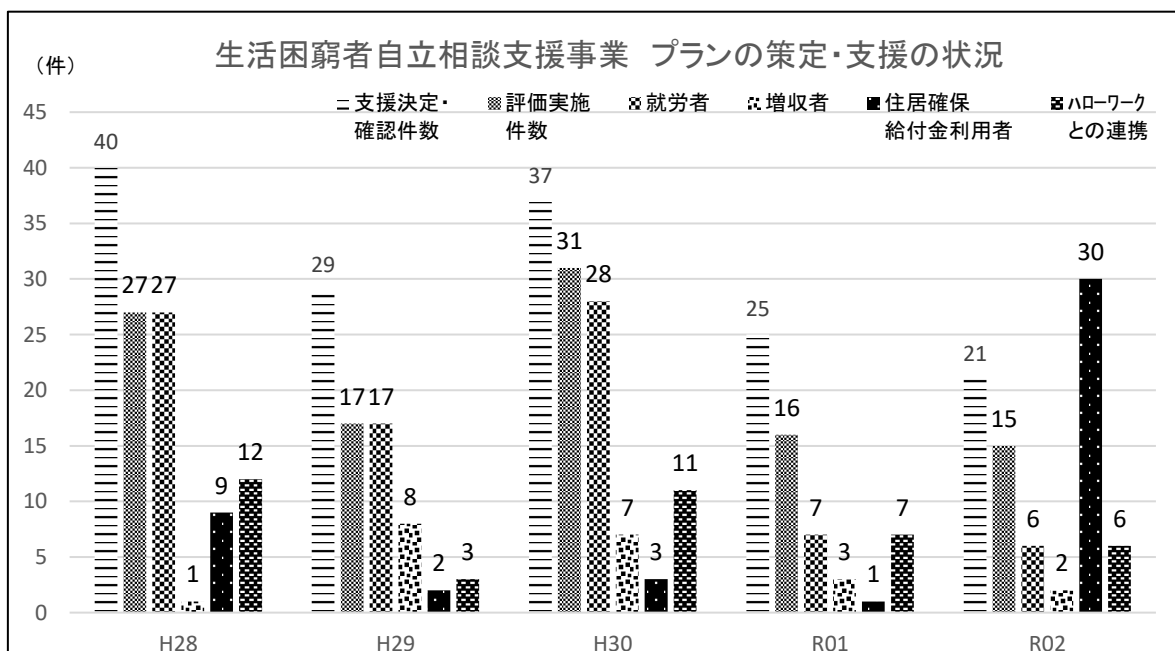
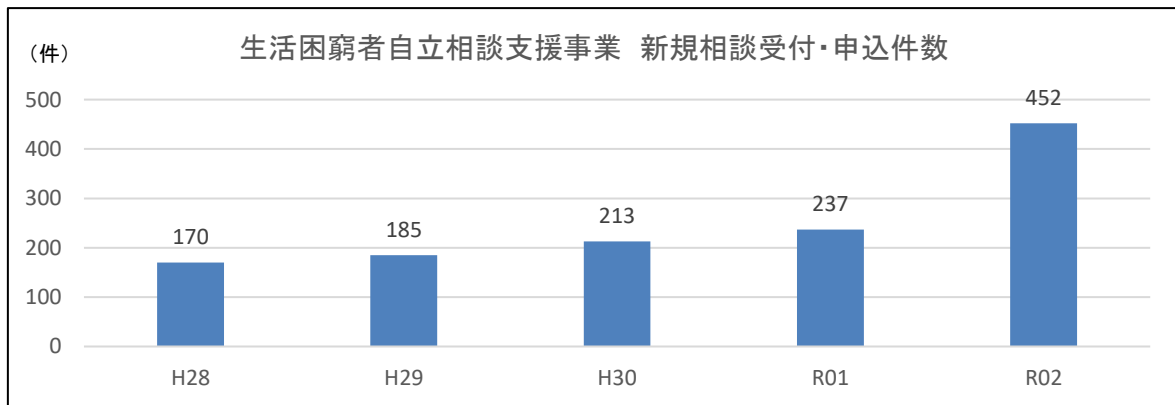
参考資料

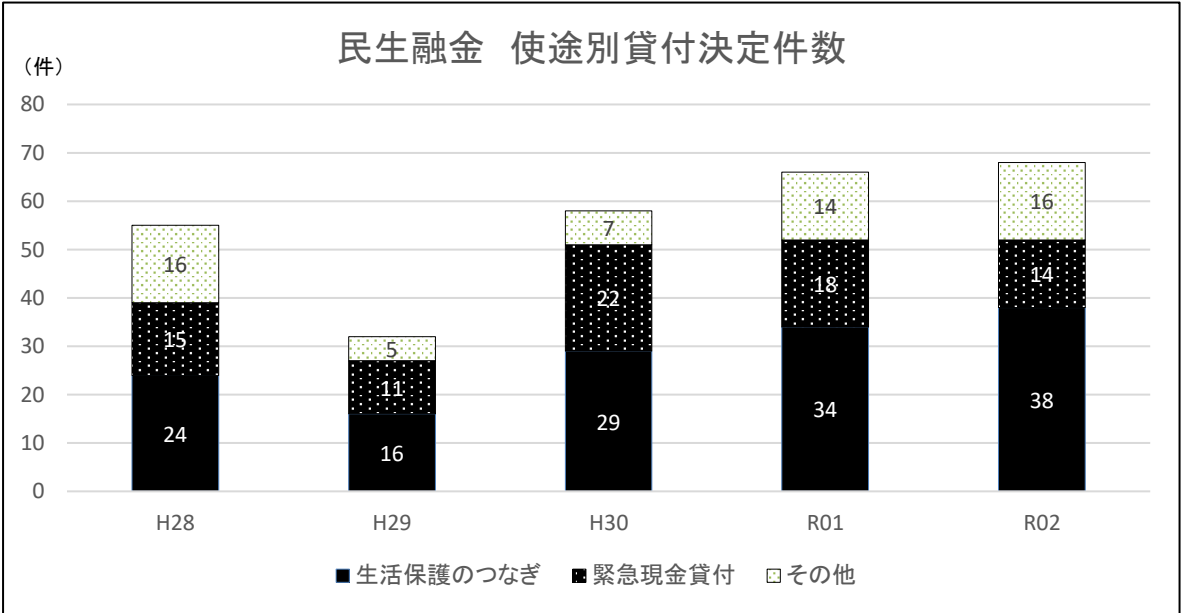
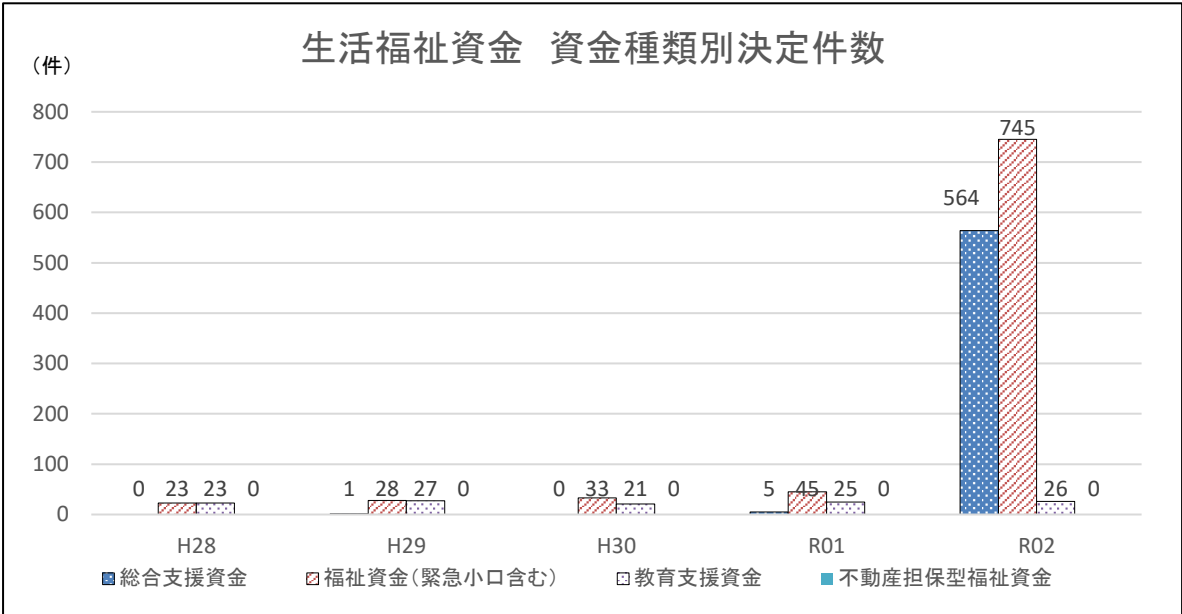
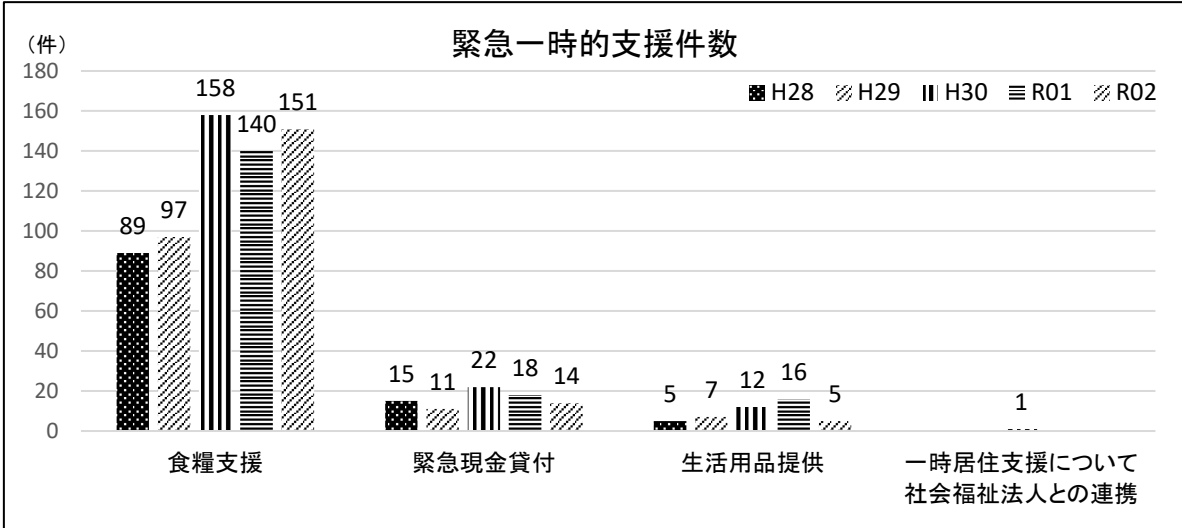
## 個別支援（安心づくり）

### ○身近な相談窓口

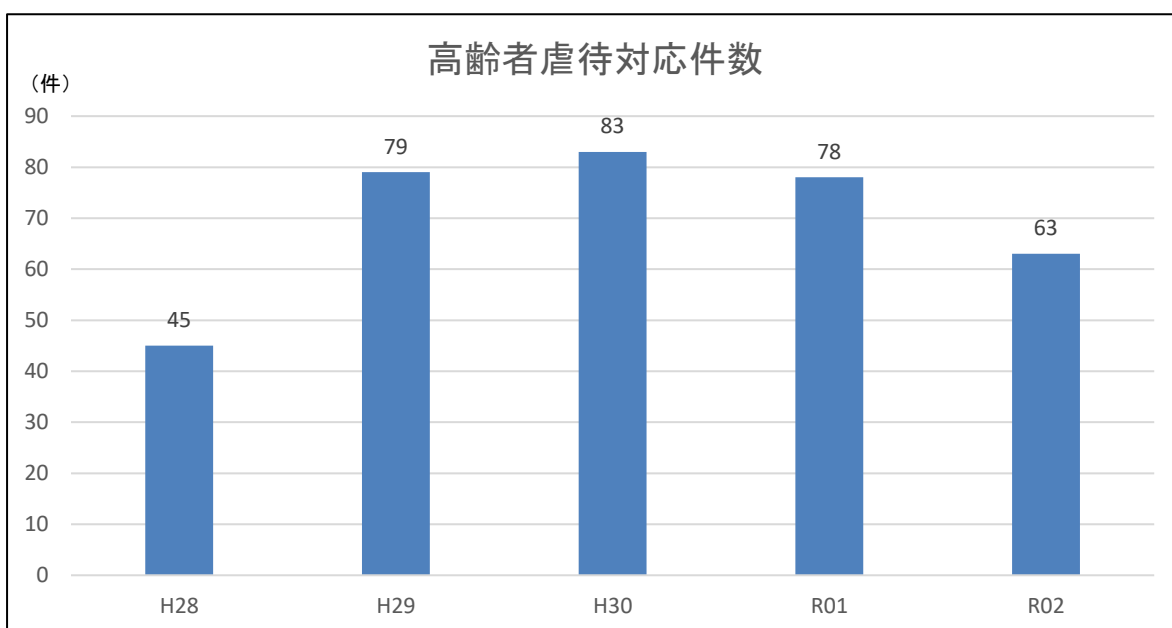
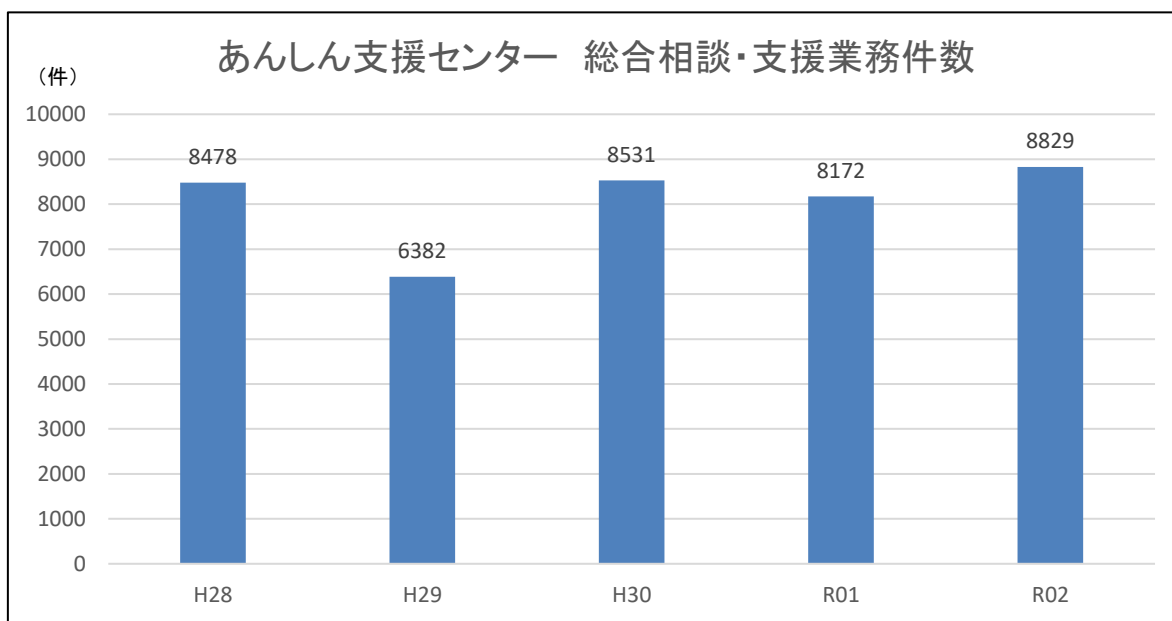


### ○生活困窮者等に対する支援

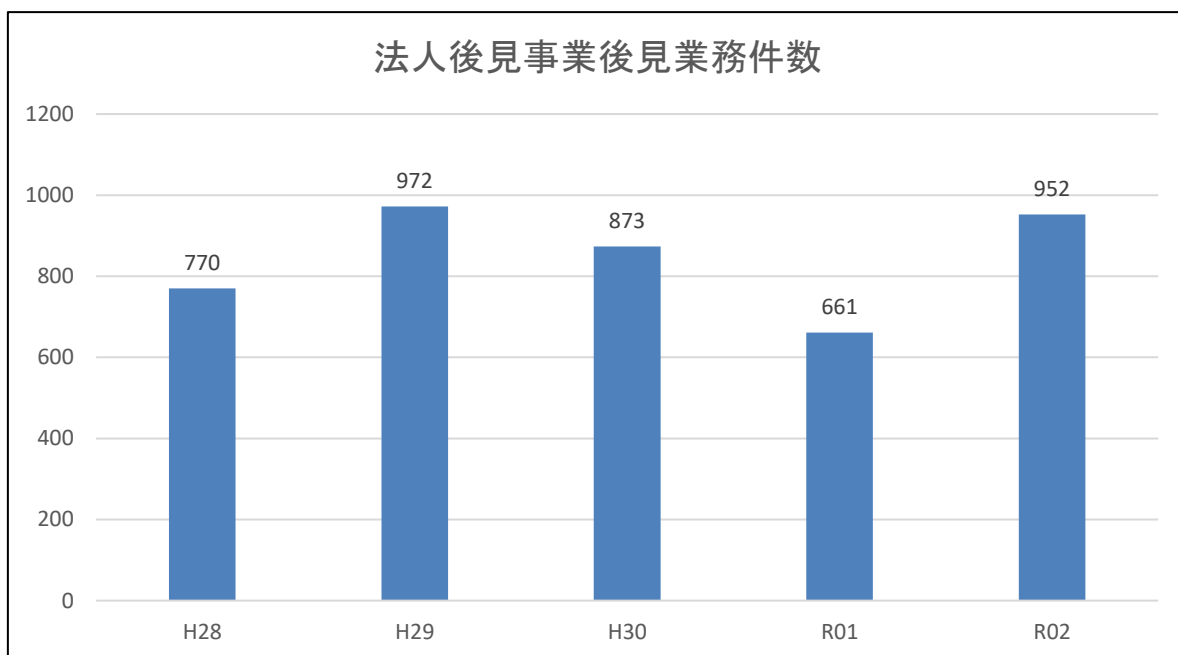
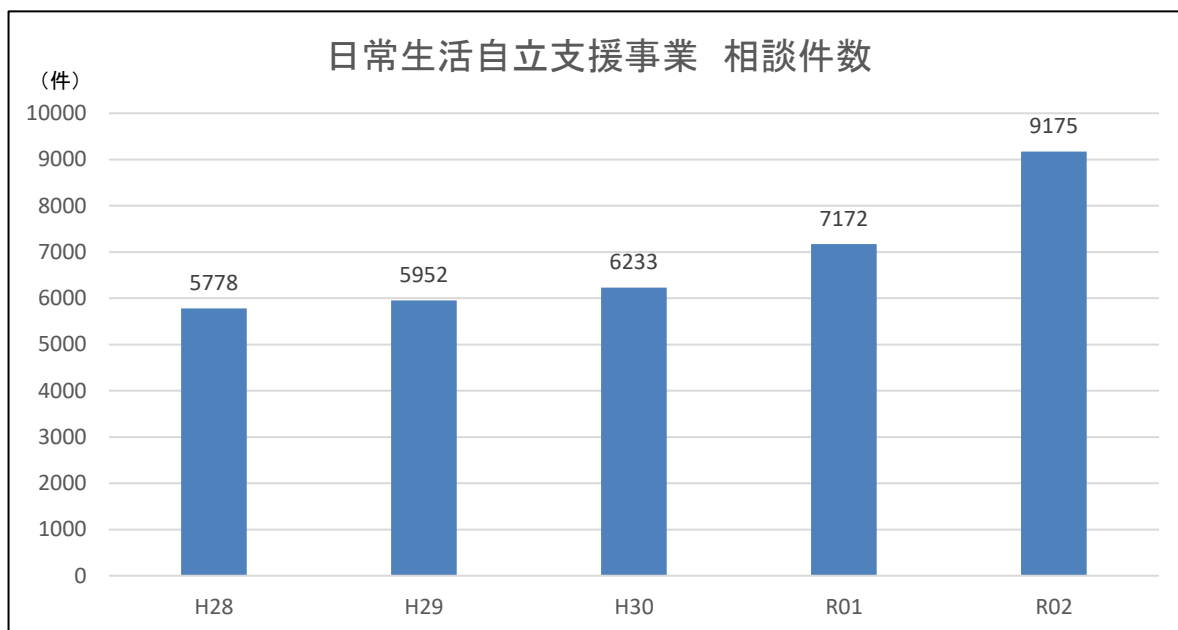




○高齢者に対する包括的な支援

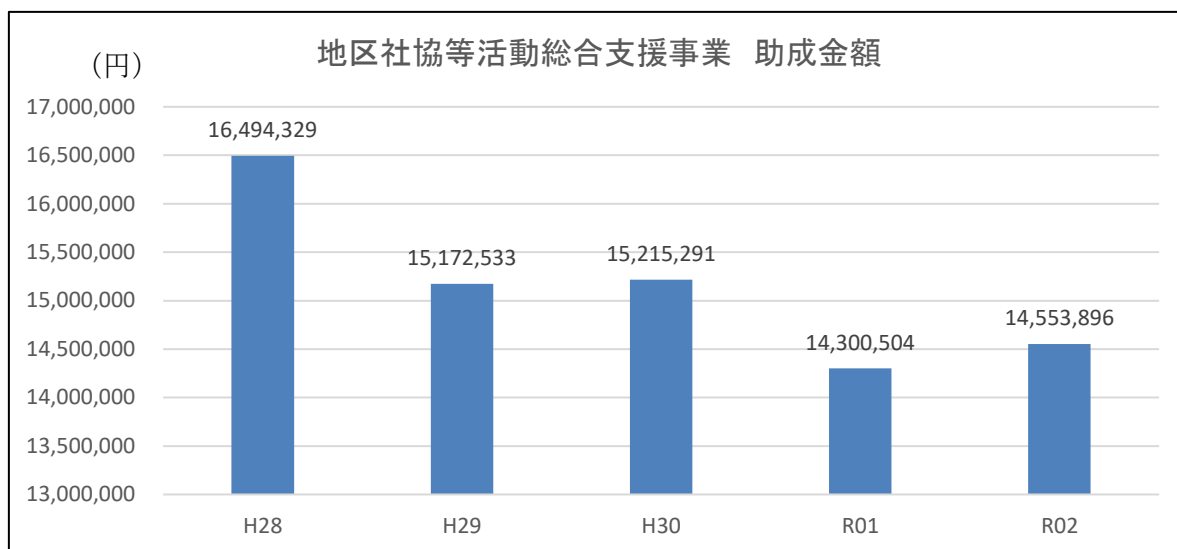


○権利擁護を必要とする人に対する支援



## 地域支援（地域づくり）

### ○地域住民の主体的な福祉活動の推進



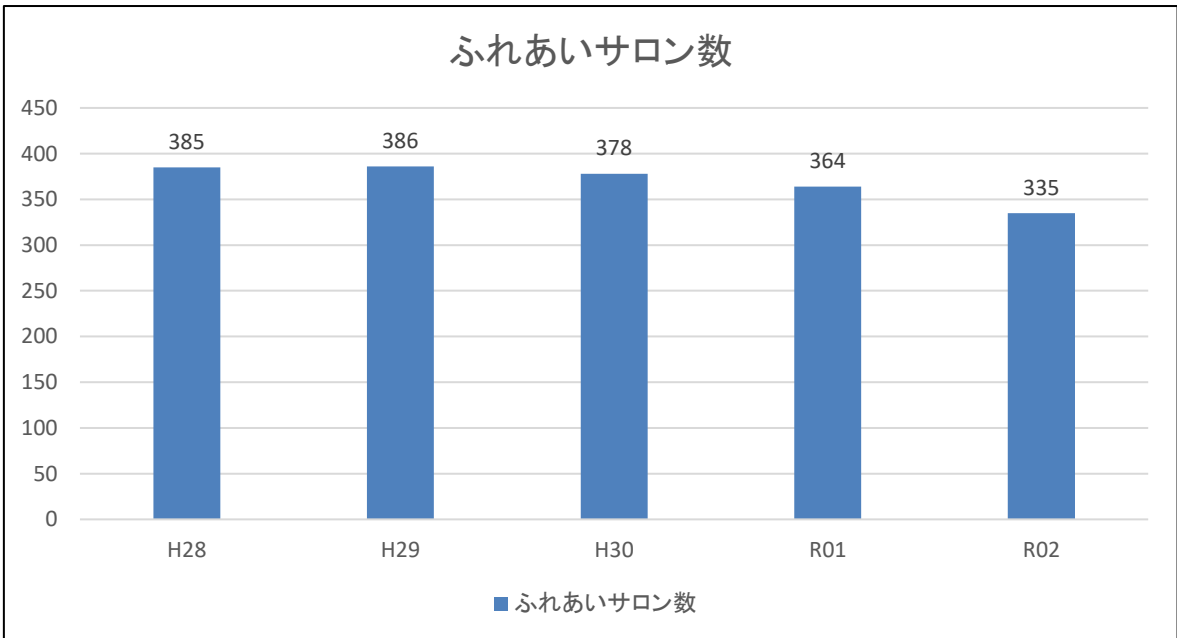
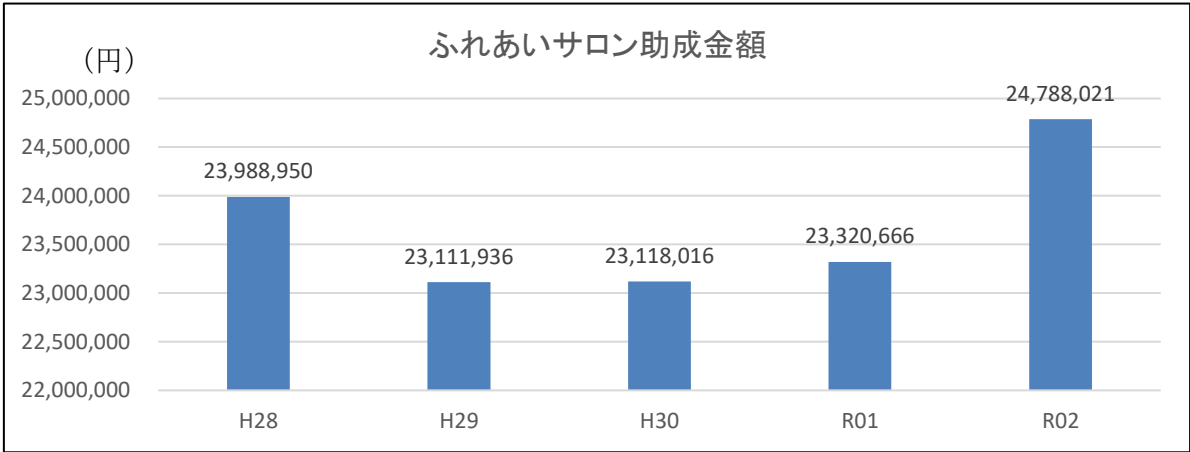
地区社会福祉協議会等総合支援事業 事業実施団体数（地区別内訳）区分表

助成区分		
1. 高齢者の健康と福祉を高める活動	見守り・声かけ活動	A
	生活応援活動	B
	認知症になっても安心して暮らせるまちづくり活動	C
	その他高齢者活動	D
2. 心身に障がいをもつ人の福祉を高める活動		E
3. 子どもを健やかに育てる活動	子どもの居場所づくり	F
	子育てサロン活動	G
	子どもの遊び場補修及び新設事業	H
	その他子ども対象活動	I
4. ボランティアの発掘及び育成のための活動	世話やきボランティア養成講座	J
	地区独自の活動	K
5. 広報啓発のための活動	地区社協だより発行事業	L
	住民座談会	M
	その他広報啓発活動	N
6. 福祉活動計画を作成するための活動		O
7. その他地域福祉活動	地域支え合い研修会	P
	相談所設置事業	Q
	拠点整備事業	R
	地区独自の事業	S

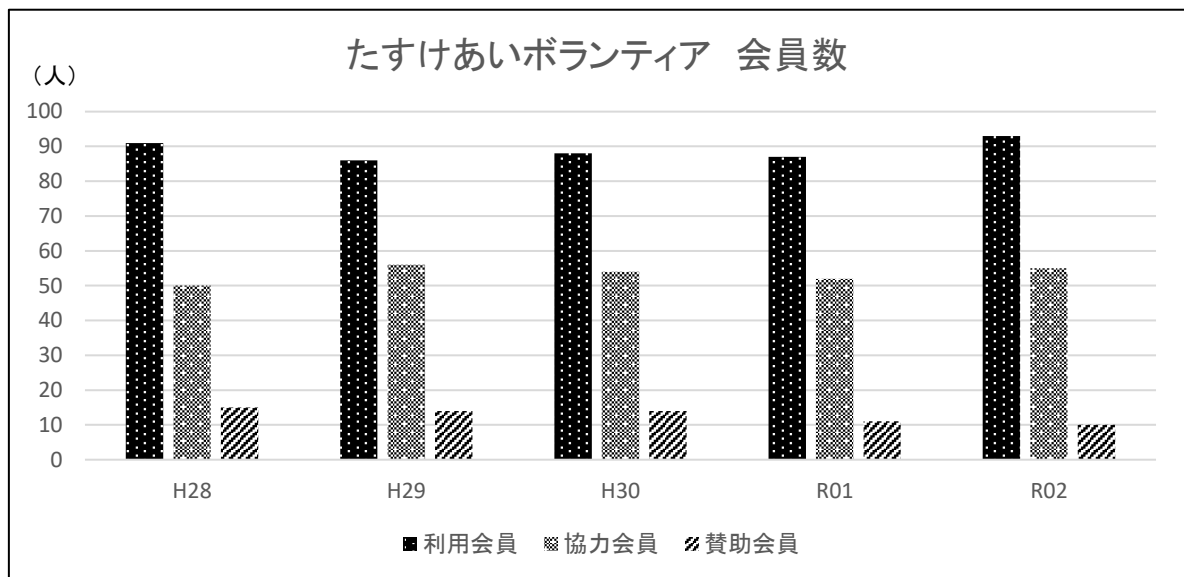
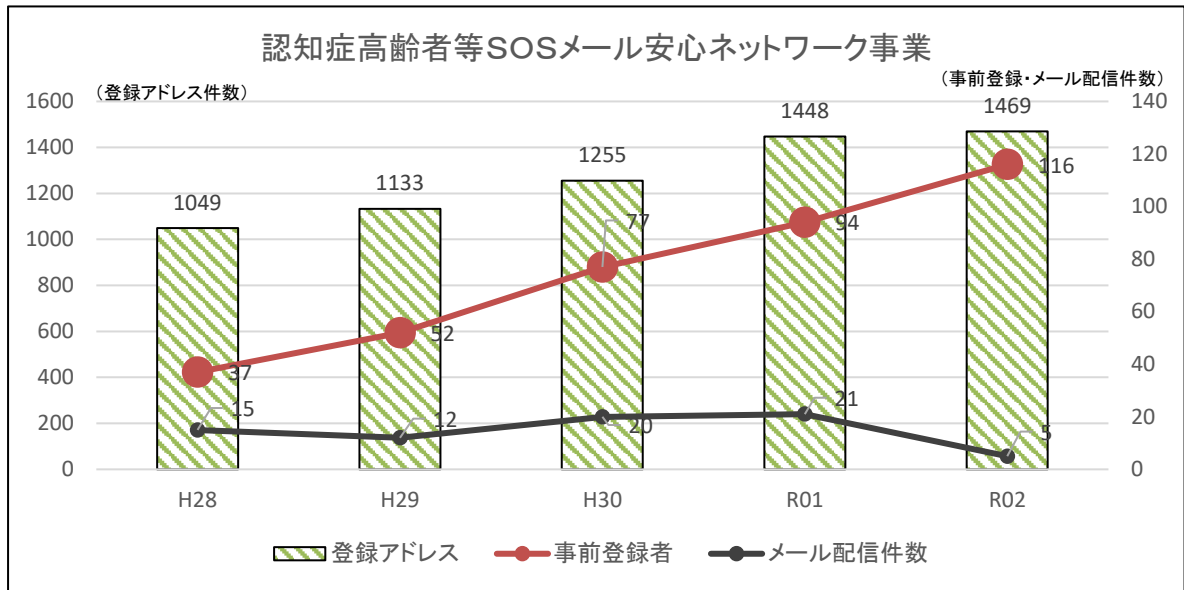


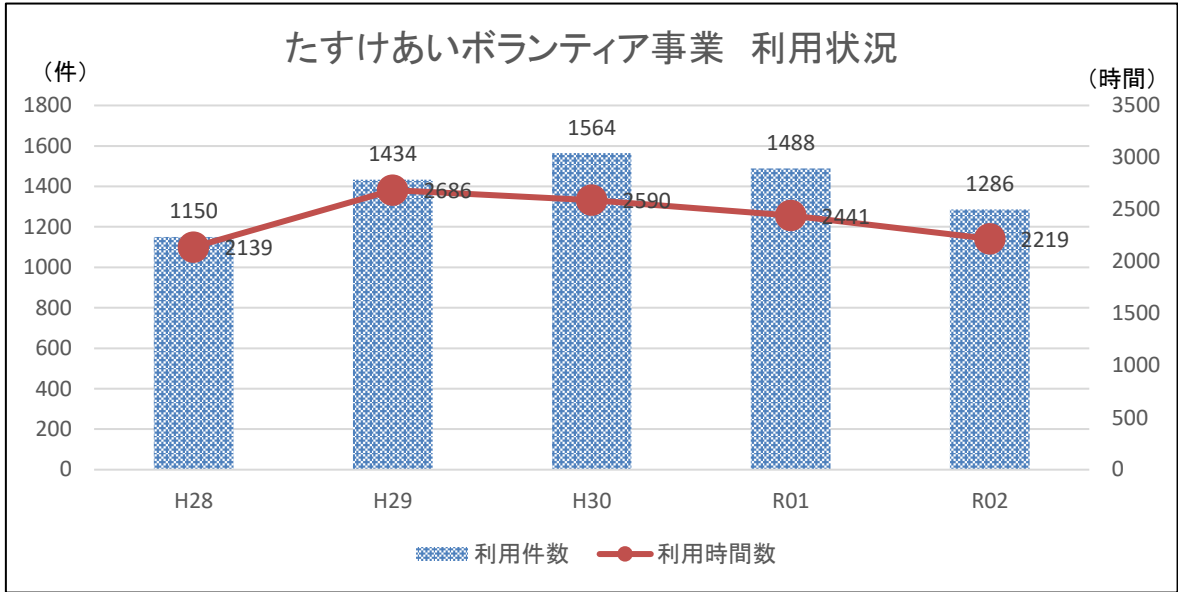
地区社会福祉協議会等総合支援事業 事業実施団体数(地区別内訳)

地域	区分	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	小計	合計	
出雲	今市				○			○			○	○										4	110
	大津	○		○				○	○			○	○				○					7	
	塩冶			○	○	○			○		○	○	○	○	○					○		9	
	古志				○	○		○	○	○		○	○		○							8	
	高松			○	○	○		○		○	○	○	○									7	
	四絡				○			○	○		○	○	○		○						○	7	
	高浜	○			○				○		○	○	○							○		6	
	川跡	○			○	○			○	○			○	○						○		8	
	鳶巣	○		○		○			○		○		○	○							○	8	
	上津	○			○				○	○			○	○								6	
	稗原	○		○	○				○	○		○	○	○	○							9	
	朝山	○	○				○			○			○									5	
	乙立	○			○	○						○	○	○								6	
	神門	○		○	○	○			○			○	○	○						○		9	
	神西				○				○	○	○			○		○						6	
	長浜	○			○	○			○				○									5	
	小計	10	1	6	13	8	1	11	11	4	8	8	16	2	4	0	1	2	2	2			
	平田	平田	○			○				○		○	○	○		○							
灘分					○				○	○		○	○		○							5	
国富					○		○	○	○			○	○									5	
西田				○	○						○	○										4	
鰐淵		○			○				○		○	○										5	
久多美					○	○			○			○	○									5	
檜山		○		○	○			○	○			○										6	
東					○				○			○	○								○	4	
北浜		○		○	○				○			○	○			○						7	
佐香		○			○				○			○	○									4	
伊野		○		○	○				○	○		○	○									6	
小計		6	0	4	11	1	1	2	10	2	3	3	10	0	2	1	0	0	0	0	1		
佐田	佐田	○			○				○		○	○		○		○						7	7
	小計	1	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	0	0			
多伎	多伎			○	○	○	○	○		○		○		○								9	9
	小計	0	0	1	1	1	1	1	1	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0			
湖陵	湖陵	○		○	○				○		○	○		○								6	6
	小計	1	0	1	1	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0			
大社	杵築				○				○	○		○	○							○		6	30
	荒木	○		○	○				○	○	○	○	○							○		9	
	遥堪				○			○	○		○	○	○				○					7	
	日御碕				○				○			○	○									4	
	鵜鷺				○					○			○	○								4	
	小計	1	0	1	5	0	0	1	3	3	3	2	4	4	0	0	1	0	2	0			
斐川	莊原				○				○			○										3	20
	出西				○	○			○													3	
	伊波野				○			○							○	○						5	
	直江					○			○												○	3	
	久木								○			○									○	3	
	出東							○	○			○										3	
小計	0	0	0	3	2	0	2	6	0	0	1	2	0	1	1	0	0	2	0				
合計		19	1	13	35	12	3	17	33	9	17	14	35	6	9	2	3	2	6	3		239	

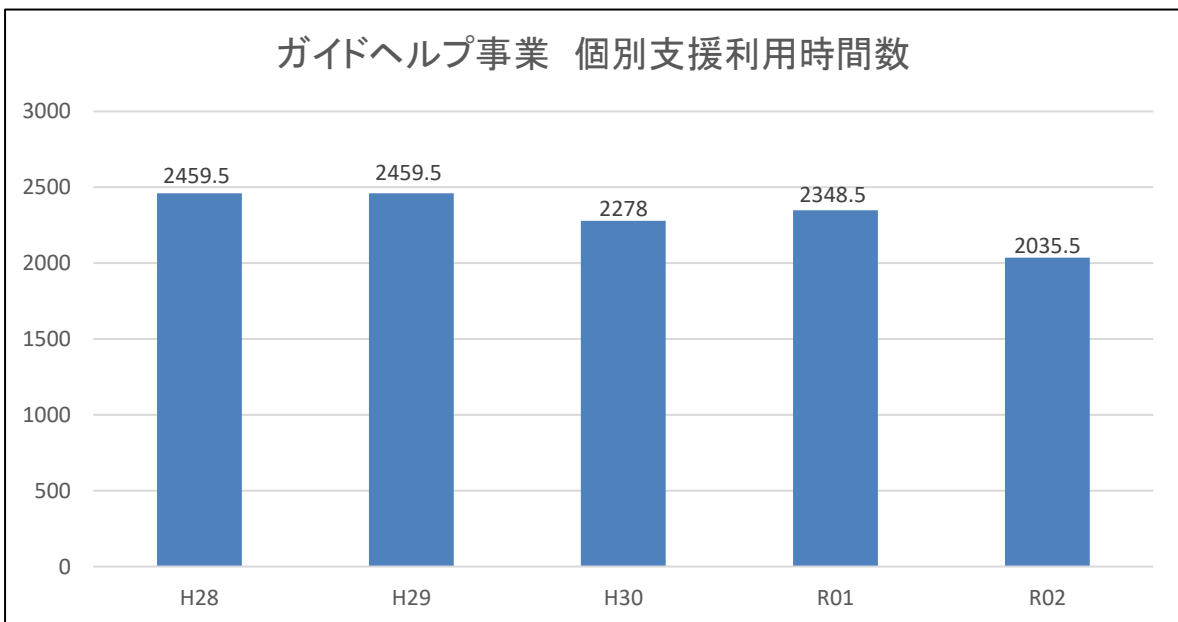
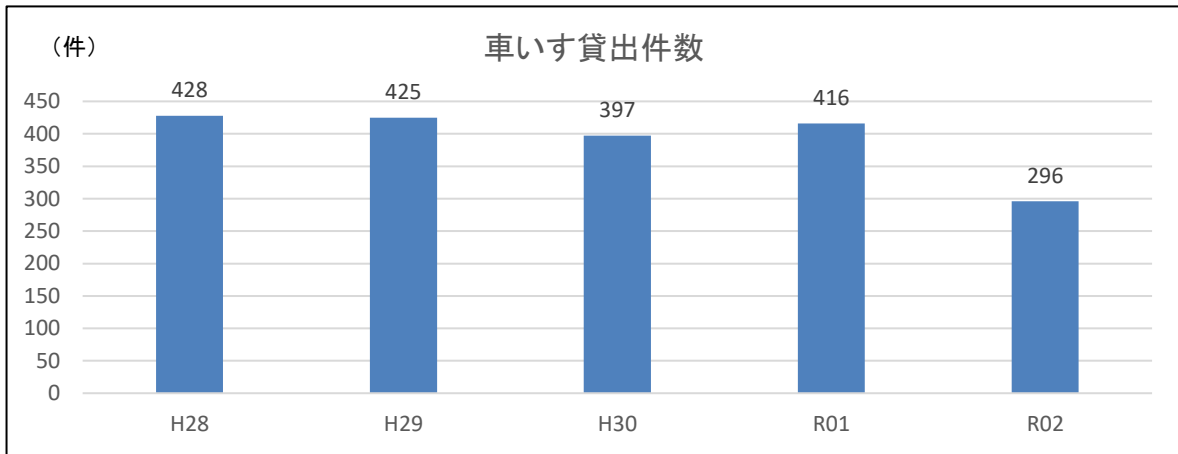


地域住民等の参加と協働による福祉のまちづくりの推進



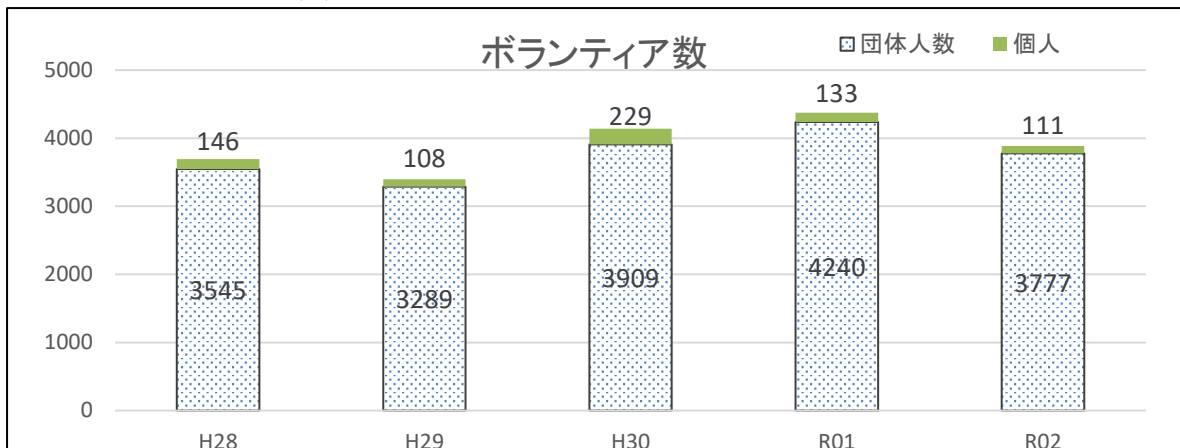


### 福祉サービスの提供

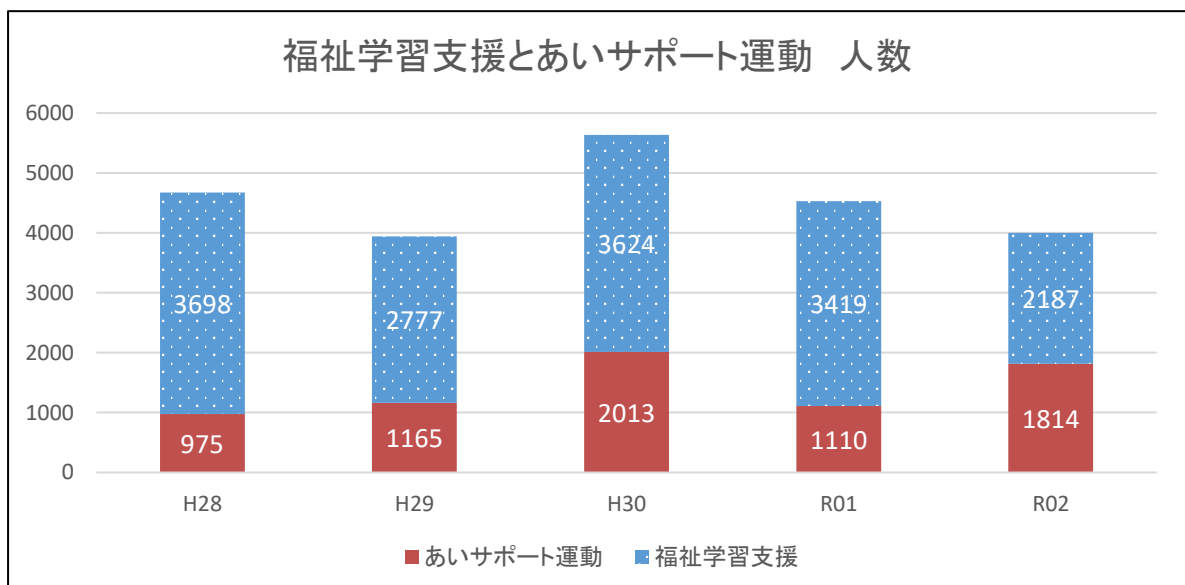
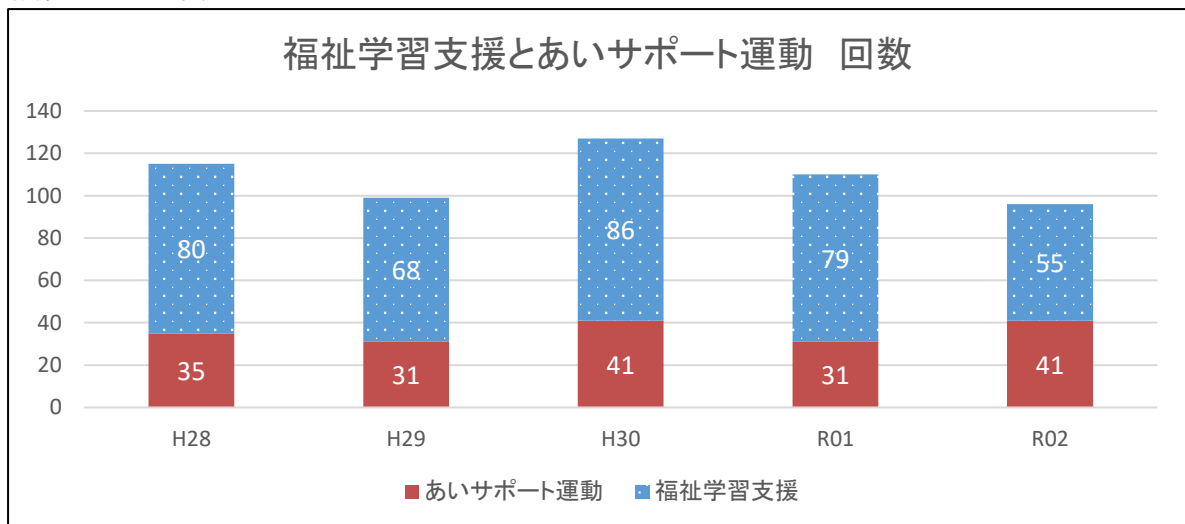


# 人材育成（人づくり）

## ボランティア活動の促進

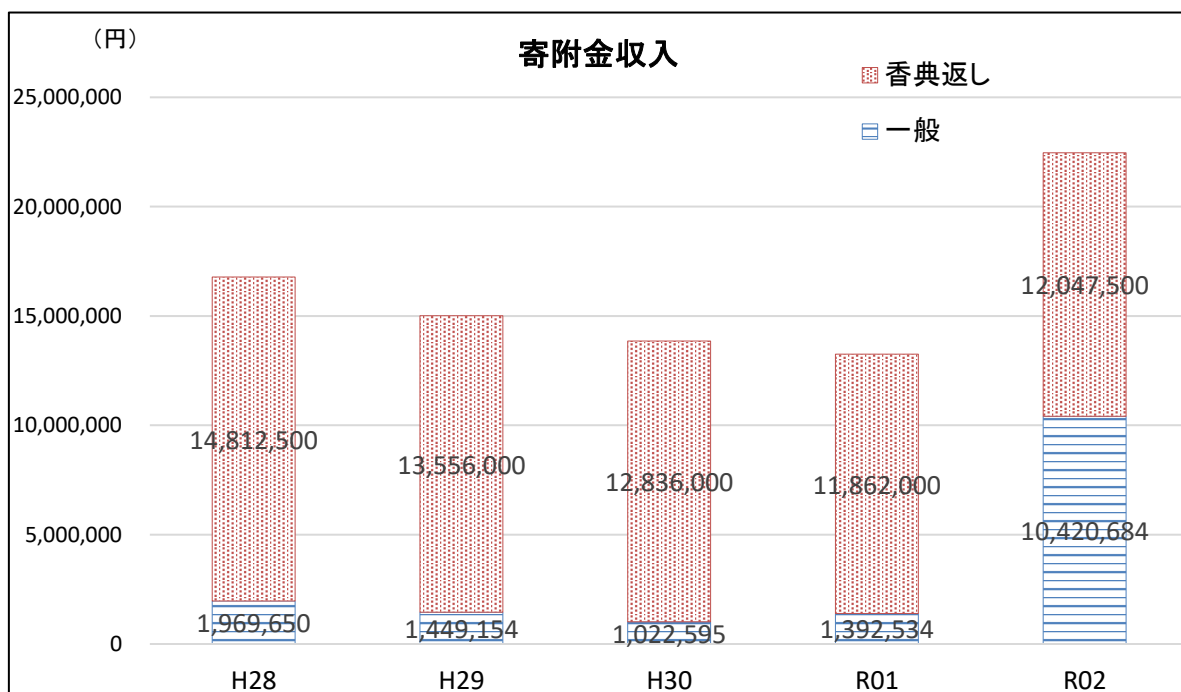
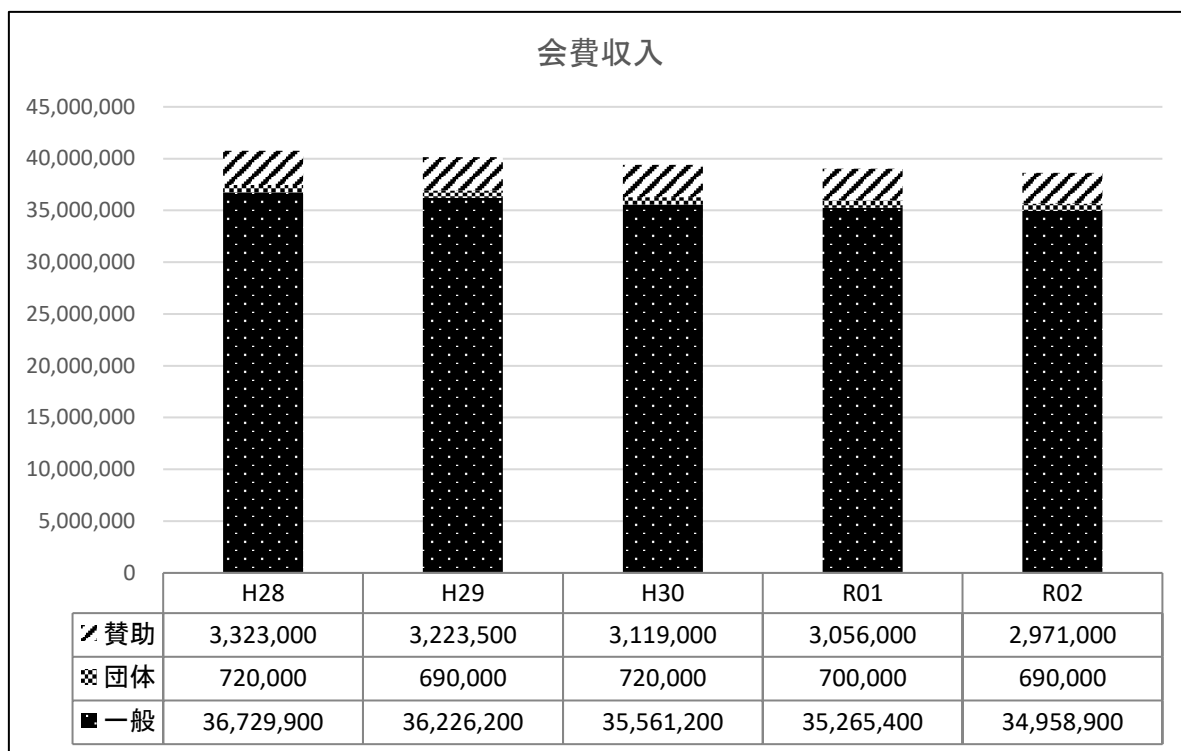


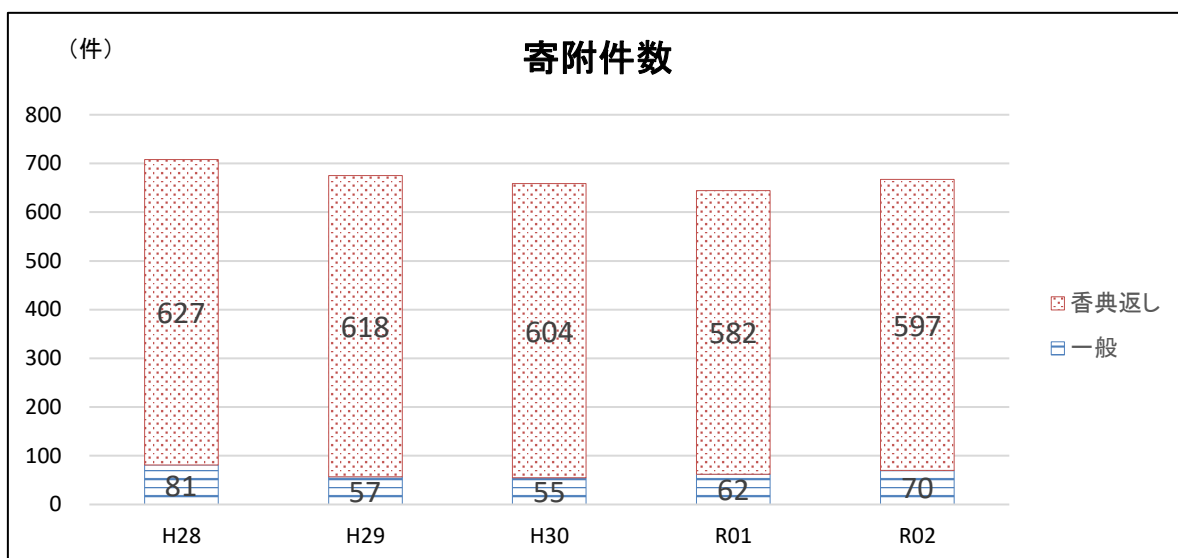
## 福祉教育の推進



# 法人運営

信頼にこたえる法人運営





### 職員配置状況

	本所	平田	佐田	多伎	湖陵	大社	斐川
事務局長	1						
総務課	11						
地域福祉課	11	2	2	2	2	2	3
生活支援課	8						
権利擁護 C	6	(兼)					(兼)
あんしん支援 C	25	9			5	5	6
<b>合計</b>	<b>62</b>	<b>11</b>	<b>2</b>	<b>2</b>	<b>7</b>	<b>7</b>	<b>8</b>

(令和3年3月31日現在)